

No. **95** 2018. 8

農工通信

The Graduates' Association of
Tokyo University of Agriculture and Technology



東京農工大学同窓会
<http://www.tuat-dousoukai.org/>



同窓会長挨拶	1
理事長挨拶	2
同窓会第55回理事会・通常総会	3
同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表	11
叙勲受章にあたり 水庭 博、横手 一郎、真木 太一	12
退職にあたり 片山 葉子、下田 実、高橋 信弘、 山田 晃、須田 良幸	15
平成29年度同窓会学生援助事業報告	17
部会・支部・クラス会だより	18
掲示板	32
事務局だより	37
編集後記	
一般社団法人化に伴う代議員選挙についてのお知らせ	10、38

■ 表紙の写真

「湯の丸山とミヤマシロチョウ」

本学の山荘があった湯の丸山周辺は東信における高山蝶（ミヤマシロチョウ、ミヤマモンキチョウ、ベニヒカゲ）の貴重な生息地と知られ、絶滅危惧Ⅱ類のミヤマシロチョウを中心に保護活動が行われています。

定年退職後その保護活動に携わりながら撮った一枚で、湯の丸山を背景にノアザミの花で吸蜜して飛び立つ瞬間を捉えたお気に入りの写真です。



表紙写真：田島 茂（工化S43）

// 題字：沢野 勉（農化S32）

■ ご 挨拶 ■



同窓会長 能條 武夫（織高S48）

先日、大学を離れ初めて農工大の卒業式と入学式に出席致しました。卒業式・入学式両式典とも大変厳かな雰囲気のもと、厳粛に執り行われ格調の高い式典でありました。まだまだ若いつもりでございましたが、二世代近く離れた卒業生、新入学生のはつらつとした姿を拝見し、時の経過をつくづくと感じる時でもありました。

いよいよ社会に旅立つ卒業生の皆さん、更に深い研究に取り組む大学院生の皆さんは、農工大での経験をこれから自身の成長に向け大いに生かしていただきたいと思います。またこれから大学生活を迎える新入学生の皆さんは、学業への努力は当然ですが、大学生活において積極的に様々な経験を積んでいただき、自分自身の今後をしっかりと見つめる大切な時を過ごして頂きたいと思います。

私が社会人となったころを振り返りますと、現在の状況を想像することさえ出来ませんでした。世の中の変化もゆっくりでのんびりしておりましたし、社会に出ても先輩のすることが出来るようになればまずは一人前でありました。社会に出ても時間もかけて指導教育もしてくれました。私の進んだ製造業においては良いものを効率よく沢山作ることを競争する時代であり、長い間そのことに大変熱心だったように記憶しています。

もう時代は大きく変わってしまっています。消費においても多様性からパーソナル、モノからコト、所有からシェア、リアルからバーチャル・ネットへと経済行動が急速に変化してまいりました。また、技術の進歩も次から次へと新しいものが生まれ、その変化も急速に早まっています。

デジタル技術等の進歩により、どこでも誰にでも高品質で高性能な製品を作り上げることが可能になってきましたし、IT化、IOT、ロボット技術等、新たな技術の進歩にも暇がありません。この変化にいかにか乗り遅れることなく、いち早く新たな挑戦が出来ているかが、次の時代に生き残る成否を左右する前提となっています。

景気回復期間が戦後2番目を記録したと言われます。また、月例の経済報告によれば、個人消費も緩やかに回復しています。しかし一方で景気回復を実感出来ないという声も沢山耳にします。このことは全体が底上げされていく高度成長の時代とは大きく違ったことが世の中に起きているのが実態だと思います。国内においては少子高齢化、人口減少、危機管理、財政健全化等決して後回しには出来ない難題が山積みです。これらの課題に積極的に取り組み、解決していくことの出来る世の中にしていかなければと思います。

農工大の同窓会においては約3年の間一般社団法人化に向けた取り組みを進めてまいりました。すべての部会・支部総会の議を経て、会員相互の理解も十分に深めることが出来ました。最終的にはこの5月の第55回通常総会において審議し承認を頂き、10月の1日には新体制のスタートが決定いたしました。予定通り来年度の総会時においては「一般社団法人東京農工大学同窓会」として最初の総会が開催されることとなります。今後も最後の準備を慎重に進め、同窓会の活動の更なる活性化に繋がるような新組織を目指してまいりたいと思います。

■ 理事長挨拶 ■

理事長 滝山 博志 (化工S62)



第54回の通常総会で法人化に向けた定款および下部規定の案を提出させて頂き、1年間をかけて副会長懇談会や支部長会、そして部会あるいは支部総会などで法人化についての説明会を実施してきました。そして平成30年5月26日開催の第55回通常総会にて、それらの案が承認されました。これにより、一般社団法人東京農工大学同窓会が、いよいよ平成30年10月1日からスタートできる準備が整ったこととなります。第53回通常総会で理事長に就任いたしました。この期間は、ほぼ法人化に向けての取り組みで業務活動が過ぎた感じがします。グローバル化が急速に進む中、同窓会も社会的に今まで以上、信頼のある団体に進化する必要があると判断し、法人化検討委員会を立ち上げ、法人化にむけての課題解決に取り組んできました。法人化検討委員会では次の3つを主軸として議論してきました。

(1) 現状の支部部会活動を、事務的作業も含めて制約しない。(2) 現行の同窓会を解散することなく、持続的に同窓会活動を維持する。(3) これらの条件を満たしながら、法人格を得る。検討委員会立ち上げ時には、専門用語を正確に理解するために、司法書士の協力が必須でしたが、委員長鈴木先生や池谷事務局長の多大なるご尽力により、主軸に合致した定款および下部規定を策定することができました。

平成29年度は、今まで以上に母校である大学との連携が強化された1年でした。まず一つ目は、特別会員である教員の方々の前で同窓会活動の紹介ができたことです。小金井および府中の両キャンパスの教授会にて次の4つの活動を主に説明することができました。(1) 母校援助事業である研究課外活動奨励賞や、就職支援など準会員に対する支援。(2) 学生の就職先情報が

掲載してある農工通信の発行。(3) 会員の動静調査と情報提供サービス。(4) 部会、支部、同好部会の活動支援。特別会員である教員の方々に、これらの同窓会活動をご理解いただき、準会員である学生さんに同窓会の良さを語って頂くことは、同窓会活動を持続するために必須だと考えたからです。この説明会実施によって、特別会員および準会員の方々に、同窓会がとても身近な存在であるとアピールできたと考えています。

二つ目は、準会員へのサービス、そして賛助会員に対する同窓会活動のアピールとして大学と協力しながら就活セミナーを実施したことです。同窓生が直接就活中の準会員に向けて、自社の企業説明をすることは、その企業内での同窓生の連携を強化するとともに、準会員にとっては自身のロールモデル形成の一助になると考えています。この農工通信をご覧頂いている賛助会員の皆様にも、この準会員に対する支援は充分ご理解して頂ける企画ではないかと考えております。

法人化の後、平成31年度には農学府と工学部で改組が予定されています。これにより部会の組織編成のあり方についての検討も必要となっています。部会変更の歴史を振り返りながら、部会活動が今後も持続できるような方向性を打ち出す議論が今後必要になっています。

結びに変えて、法人化、そして法人化後の最初の総会に向けてのスケジュールを紹介させて頂きます。まず代議員の選挙を平成31年1月に実施し、平成31年6月に総会を実施します。このように、同窓会は一般社団法人東京農工大学同窓会へともうすぐ生まれ変わります。どうぞご期待頂くとともに、さらなるご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

同窓会第55回理事会・通常総会

■日時：平成30年5月26日（土）13：30～14：50 ■場所：府中キャンパス
 ■理事会出席者：73名（内委任状34名）、総会出席者：229名（内委任状68名）



第55回理事会・通常総会は、5月26日（土）府中キャンパスで開催された。通常総会に先立って理事会が農学部本館第2会議室で開催され、滝山理事長を議長に選任した。議長から、特別会員の推薦、副会長の交代及び理事退任、名誉会長・名誉顧問及び顧問の推挙、同窓会法人化及び通常総会の議案の説明があり、承認された。

通常総会の開催にあたって、千年副理事長から、出席者が定足数を超え通常総会が成立した旨の報告があった。能條会長から、出席いただいた方々に対するお礼と、有意義な討論のお願いの挨拶があった。続いて、大野学長をはじめ、来賓（梅田理事、岡山理事、島村理事、千葉農学府長、船田連合農学研究科長、畑中名誉会長、藤森名誉会長、小畑名誉顧問）の紹介があった。大野学長から、同窓会の支援に対する謝意があり、協力関係強化についてのお話があった。

引き続き、千年副理事長から、通常総会の議長については、会則第35条に基づき能條会長が務める旨の説明があった後、会則第37条第2項により能條会長、畑監事、生原監事が議事録署名人となり議事に入った。

報告

1. 特別会員の推薦報告の件

滝山理事長から、資料に基づき、理事会で推薦された特別会員15名の報告があり、了承された。

議事

1. 平成29年度事業報告（案）の件

滝山理事長から、平成29年度事業報告（案）【別記1】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

2. 平成29年度収支決算報告（案）の件

滝山理事長から、平成29年度収支決算報告（案）【別記2】について提案説明があり、審

議の結果、承認された。

3. 平成29年度監査結果報告の件

生原監事から、平成29年度の会計、事業・業務遂行状況及び個人情報の保護に関する取り扱いについて、適正に行われている旨の監査報告があり、了承された。

4. 平成30年度事業計画（案）の件

滝山理事長から、平成30年度事業計画（案）【別記3】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

5. 平成30年度収支予算（案）の件

滝山理事長から、平成30年度収支予算（案）【別記4】について提案説明があり、審議の

結果、承認された。

6. 副会長交代及び理事退任（案）の件

滝山理事長から、副会長交代及び理事退任（案）【別記5】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

7. 名誉会長・名誉顧問及び顧問の推挙の件

滝山理事長から、名誉会長・名誉顧問及び顧問の推挙【別記6】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

8. 同窓会法人化の件

滝山理事長から、同窓会法人化【別記7】について提案説明があり、審議の結果、承認された。また、設立時理事が承認されたのを受け臨時の設立時理事会が同会場で開催され、【別記8】のように、理事長（設立時代代表理事）、副理事長及び運営委員が選任され、その旨の報告が総会に対してあった。

9. その他の件

○同窓会ホームページの掲載内容について

滝山理事長から、東京農工大学教員公募情報と学科別の教員に占める同窓生の割合を同窓会ホームページにアップする旨の報告があった。

○来年度総会について

滝山理事長から、来年度の総会は平成31年6月22日(土)か29日(土)のいずれかについて、大学側と調整をしていく旨の報告があった。

【別記1】平成29年度事業報告

(1) 第54回理事会・通常総会の開催

平成29年5月27日(土)小金井キャンパスにて第54回理事会・通常総会を開催した。

議事内容は、1)平成28年度事業報告(案)、2)平成28年度収支決算報告(案)、3)平成28年度監査報告、4)平成29年度事業計画(案)、5)平成29年度収支予算(案)、6)平成29・30年度会長・副会長の選任(案)、7)理事・代議員の選任(交代)(案)、8)同窓会法人化について、9)東京農工大学同窓会会則の変更(案)、10)その他、分収林について、新旧会長の退任・新任挨拶

(2) 平成29年度副会長懇談会の開催

平成29年11月11日(土)、府中キャンパスにて平成29年度副会長懇談会を開催した。

(3) 同窓会の組織と活動

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として以下のことを行った。

- 1) **法人化**：一般社団法人への移行について、平成29年度総会で定款(案)及び下部規程(案)を提案した。総会後法人化検討委員会が検討し修正を加え、部会及び支部向け説

明会で定款(修正案)及び下部規程(修正案)の説明会を開催した。説明会では活発な意見交換があり、その後の法人化検討委員会でこれらの意見を反映した修正を行い、部会・支部に配信して更なる意見交換を行った。平成30年度の総会で決定する予定。

- 2) **運営経費**：会費収入が少ない予算規模での活動方針、長期的な資金保持・運用等について検討した。
 - 3) **会費等**：入会金・賛助会費等の納付率を向上させるための方策を検討し実施した。
 - 4) **部会の組織編成**：常務理事会のほか、副会長懇談会でも検討を加えた。
 - 5) **総会構成員**：「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加に努めた。
 - 6) **同窓会誌「農工通信」**：年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努めた。
 - 7) **部会・支部活動**：常務理事の部会・支部への理事派遣を引続き行い、今まで派遣要請のなかった支部にも派遣した。大学の学長や理事にも支部総会にご出席いただき、大学との連携強化を図った。
 - 8) **同好部会**：「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動等に関する規程第2条第2項」に基づく同好部会の充実に努めた。
 - 9) **準会員への援助**：準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。また、準会員に対して同窓会の活動を理解してもらうようなPRをした。本年度は、同窓会と東京農工大学と相互に同窓会情報を共有し、企業説明会の開催や公務員就職説明会の開催支援など就職支援活動の充実に努めた。
 - 10) **同窓会ホームページ**：「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実にについて更に検討を重ねた。本年度は、準会員に対する就職情報の提供をホームページ上で行った。
- ### (4) 同窓会活動の課題
- 1) **分収林**：分収林契約の今後を検討するため、同窓会副理事長他5名で現地検討会を開催した。
 - 2) **海外支部設置**：アジアの各国にいる同窓生との情報共有を広げ、同窓生の活動を

支援した。

- 3) **PR活動**：同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレンツデーにて配布）及びホームページによるPR活動に努めた。
 - 4) **会員の動静情報整理**：農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。
 - 5) **会員の慶弔時の表意**：祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。
 - 6) **災害時の同窓生支援**：被災された支部にお見舞い文を送り、同窓生の情報共有を行った。
- (5) **その他**
- 1) **校歌・寮歌のCD作成**：ホームページ上に新たに西ヶ原寮歌をアップした。

【別記3】平成30年度事業計画

(1) 第55回理事会・通常総会の開催

平成30年5月26日(土)府中キャンパスにて第55回理事会・通常総会を開催する。

議事内容は、1)平成29年度事業報告(案)、2)平成29年度収支決算報告(案)、3)平成29年度監査報告、4)平成30年度事業計画(案)、5)平成30年度収支予算(案)、6)同窓会法人化について、7)理事・監事・代議員の任期延長について、8)特別会員の推薦報告について、9)名誉会長・名誉顧問及び顧問の推挙について、10)その他の件

(2) 平成30年度各種会議の開催

平成30年11月10日(土)、府中キャンパスにて法人移行後第1回理事会、副会長懇談会、部会長会及び支部長会を開催する。平成31年3月に第2回理事会を開催する予定

(3) 同窓会組織の強化及び活性化

- 1) 一般社団法人化を完了させ、安定した運営が行えるようにする。
- 2) 代議員選挙を実施する。
- 3) 部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。
- 4) 常務理事（運営委員）の部会・支部への派遣も引続き行い、今まで派遣していな

い支部にも派遣できるようにする。大学役員の派遣依頼にも応えられるよう大学との連携を図る。

- 5) 部会・支部活動の活性化のための支援の方策を検討する。
- 6) 同好部会活動の充実に努める。
- 7) 立候補代議員の登録の増加に努める。
- 8) 部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会WEBページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実にについて検討を重ねる。
- 9) 入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施する。
- 10) 歳出削減に努める。

(4) 同窓会の課題及び今後の対応

- 1) 学内外問わず、同窓会活動を理解いただくため、同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレンツデーにて配布）及び同窓会WEBによるPR活動に努める。
- 2) 分収林の課題について、引き続き議論を重ねる。
- 3) 海外支部設置について、検討を引き続き行う。
- 4) 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。
- 5) 祝電・弔電により祝意・弔意を表する。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈する。

(5) 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施

準会員（学生）の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。

また、大学と協力しながら就活セミナー等を開催することで、同窓生となる準会員に対して、就職支援等の充実に努める。

(6) その他

- 1) 改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行う。
- 2) 校歌・寮歌のCD化作業をさらに進める。



【別記2】 平成29年度 収支決算報告書(案) (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで) (単位:円)

No	区分	細分	科目	(A) 平成29年度 予算額	(B) 平成29年度 決算額	(A) - (B) 増減	備考	
1	基本財産	収入	基本財産(前年度繰越金)	330,000,000	330,000,000	0		
2			余剰金からの繰入(30%超える分)	0	0	0		
3			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0		
4			収入合計(1~3)	330,000,000	330,000,000	0		
5		支出	他の財産へ繰出	0	0	0		
6			支出合計(5)	0	0	0		
7			基本財産残高(4-6)	330,000,000	330,000,000	0		
8	運用財産	収入	前年度繰越金	3,876,954	4,558,982	-682,028	前年度の剰余金が682,028円多かった	
9			入会金	3,300,000	3,685,000	-385,000	5,000円×737名(内45名再案内入金者)	
10			年会費	1,200,000	1,245,000	-45,000	1,500円×830名	
11			終身会費	3,000,000	3,050,000	-50,000	(完納)30,000円×101名=3,030,000円 (分納)10,000円×1名=10,000円 (留学生)10,000円×1名=10,000円	
12			賛助会費	19,000,000	21,960,000	-2,960,000	30,000円×732名(内44名再案内入金者)	
13			利息	900,000	949,970	-49,970	国債940,000円、預金9,970円	
14			寄附金	0	47,000	-47,000	一般寄附	
15			雑収入	300,000	330,000	-30,000	農工通信広告料	
16			基本財産運用益	0	0	0		
17			収入合計(8~15)	31,576,954	35,825,952	-4,248,998		
17			支出	動静調査費	570,000	584,465	-14,465	後納郵便料67円×249通=16,683円 77円×1,153通=88,781円(動静はがき返信) 動静葉書及び目隠しシール印刷代479,001円
18				会報発行費	0	0	0	本年度は特定目的事業財産から支出
19				H P管理作成費	270,000	206,176	63,824	新規・更新掲載料、サーバーレンタル料
20				部会・支部活動費	6,000,000	5,740,000	260,000	活動費(16部会、43支部、6同好部会) 総会補助金(6部会36支部) 祝金(3部会、29支部)、講演謝金2支部
21				母校援助費	0	0	0	本年度は特定目的事業財産から支出
22		新入正会員歓迎費		780,000	760,530	19,470	卒業証書カバー	
23		分収林管理費		30,000	10,200	19,800	八王子分収林交通費	
24		資料整備費		270,000	200,027	69,973	新入生への案内パンフレットおよびペアレックス用リフレット印刷費	
25		事業費計(17~24)		7,920,000	7,501,398	418,602		
26		総会会議費		4,000,000	3,691,120	308,880	出席交通費(140名分)3,113,180円、懇親会費500,000円ほか	
27		副会長懇談会費		120,000	87,364	32,636	副会長懇談会出席交通費、お弁当代ほか	
28		常務理事会議費		120,000	85,935	34,065	常務理事会出席旅費ほか	
29		会議費計(26~28)		4,240,000	3,864,419	375,581		
30		人件費		5,750,000	5,581,627	168,373	給与	
31		社会保険料等		320,000	350,766	-30,766	労働保険料ほか	
32		備品費		0	0	0		
33		消耗品費		200,000	170,645	29,355	コピー用紙、文房具ほか	
34		複写機トータルサービス料		620,000	477,029	142,971	コピー代	
35		通信費		270,000	209,540	60,460	電話料、宅急便、メール便	
36		旅費		1,700,000	1,345,110	354,890	支部総会理事派遣旅費、法人化検討委員会開催旅費ほか	
37		事務用品印刷費		50,000	44,712	5,288	封筒印刷	
38		慶弔費		50,000	26,384	23,616	電報、生花代	
39		光熱水費		120,000	125,700	-5,700	電気料金	
40		職員厚生費		100,000	20,000	80,000	人間ドック補助金1名	
41		租税公課		200,000	145,478	54,522	利息にかかる国税	
42		振込手数料		270,000	267,794	2,206		
43		その他雑費		250,000	87,895	162,105	感謝状作成、損害保険料、個人情報溶解、残高証明ほか	
44		管理費計(30~43)		9,900,000	8,852,680	1,047,320		
45		予備費		9,516,954	2,707,096	6,809,858	入会金の返付(3名)4,500円 賛助会費再案内経費107,231円 法人化に伴う相談費、説明会等のための費用1,950,227円 活動支援645,138円	
46		支出合計(25+29+44+45)		31,576,954	22,925,593	8,651,361		
47		運用財産残高(16-46)	0	12,900,359	-12,900,359			
48		特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	42,616,056	42,616,056	0	
49				余剰金からの繰入(30%超える分)	0	0	0	
50				上記以外の余剰金からの繰入	13,261,242	13,261,242	0	基本財産運用益を特定目的事業財産に繰り入れ
51	収入合計(48~50)			55,877,298	55,877,298	0		
52	支出		八王子分収林育成事業費	0	0	0		
53			学生援助事業費	5,000,000	5,071,639	-71,639	学生援助事業前期・1後期分	
54			被災会員支援事業費	0	0	0		
55			図書等刊行事業費	0	0	0		
56			その他本財産に適合する事業費	10,000,000	9,673,886	326,114	農工通信93・94号	
57			支出合計(52~56)	15,000,000	14,745,525	254,475		
58			特定目的事業財産残高(51-57)	40,877,298	41,131,773	-254,475		
59			合計(7+47+58)	370,877,298	384,032,132	-13,154,834		
60	特定資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0		
61	総合計(59+60)			403,754,698	416,909,532	-13,154,834		

【別記4】 平成30年度予算（案）

（単位：円）

No.	区分	細分	項目	平成30年度 予算額①	平成29年度 予算額②	差異 ①-②	摘要	
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金 6）	330,000,000	330,000,000	0		
2			余剰金からの繰入れ(30%を超える分)	0	0	0		
3			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0		
4			収入合計（1+2+3）	330,000,000	330,000,000	0		
5		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0		
6			支出合計（5）	0	0	0		
7			基本財産残高（4-6）→次年度繰越金	330,000,000	330,000,000	0		
8	運用財産	収入	前年度繰越金	12,900,359	3,876,954	9,023,405	前年度の剰余金	
9			入会金	3,300,000	3,300,000	0	前年度実績3,685,000円を勘案	
10			年会費	1,200,000	1,200,000	0	前年度実績1,245,000円を勘案	
11			終身会費	3,000,000	3,000,000	0	前年度実績3,050,000円を勘案	
12			賛助会費	21,000,000	19,000,000	2,000,000	前年度実績21,960,000円を勘案	
13			利息	900,000	900,000	0	前年度実績949,970円を勘案	
14			寄附金	0	0	0		
15			雑収入	1,100,000	300,000	800,000	増加につとめるとともに、企業説明会収入の増加を見込む	
16			収入合計（8～15の計）	43,400,359	31,576,954	11,823,405		
17			支出	動静調査費	570,000	570,000	0	昨年度予算額と同額を計上
18				会報発行費	10,000,000	0	10,000,000	
19				HP管理作成費	270,000	270,000	0	前年度実績206,176円だが、見直しを検討中のため昨年度予算額と同額
20				部会・支部活動費	6,000,000	6,000,000	0	前年度実績は5,740,000円だが、部会・支部活動の更なる支援をするため6,000,000円を計上
21				母校援助費	5,500,000	0	5,500,000	学生援助事業昨年度実績5,071,639円を勘案し余裕を見て経常
22				卒業生援助費	780,000	780,000	0	前年度実績760,530円を勘案
23				分収林管理費	30,000	30,000	0	前年度実績額10,200円と本年度活動費の増を見込んで30,000円を計上
24		資料整備費		270,000	270,000	0	前年度実績200,027円を勘案	
25		事業費計（17～24の計）		23,420,000	7,920,000	15,500,000		
26-1		総会会議費		4,000,000	4,000,000	0	前年度決算3,691,120円を勘案	
26-2		理事会会議費		600,000	0	600,000	11月と3月の開催経費	
27-1		副会長懇談会(部会長会)会議費		120,000	120,000	0	前年度実績は87,364円だが、余裕を見て120,000円を計上	
27-2		支部長会議費		2,000,000	0	2,000,000	11月の開催経費	
28		常務理事会(運営委員会)会議費		120,000	120,000	0	前年度実績は85,935円だが、余裕を見て120,000円を計上	
29		会議費計（26～28の計）		6,840,000	4,240,000	2,600,000		
30		人件費		5,600,000	5,750,000	-150,000	前年度実績5,581,727円を勘案	
31		社会保険料等		360,000	320,000	40,000	前年度実績350,766円を勘案	
32		備品費		0	0	0	前年度実績0円を勘案	
33		消耗品費		200,000	200,000	0	前年度実績170,645円を勘案	
34		複写機トータルサービス料		620,000	620,000	0	前年度実績は477,029円だが、余裕を見て昨年と同額を計上	
35		通信費		210,000	270,000	-60,000	前年度実績は209,540円を勘案	
36		旅費		1,500,000	1,700,000	-200,000	前年度実績は1,345,110円を勘案	
37		事務用品印刷費		50,000	50,000	0	前年度実績44,712円を勘案	
38		慶弔費		50,000	50,000	0	前年度実績は26,384円だが、変動も見込まれるので50,000円を計上	
39		光熱水費		130,000	120,000	10,000	前年度実績125,700円を勘案	
40		職員厚生費		50,000	100,000	-50,000	退職金、人間ドック等	
41		租税公課		150,000	200,000	-50,000	前年度実績145,478円を勘案	
42		振込手数料		270,000	270,000	0	前年度実績額267,794円を勘案	
43		その他雑費		200,000	310,000	-110,000	前年度実績87,895円だが、変動も見込まれるので200,000円を計上	
44		管理費計（30～43の計）		9,390,000	9,960,000	-570,000		
45		予備費	3,750,359	9,456,954	-5,706,595			
46		支出合計（25+29+44+45）	43,400,359	31,576,954	11,823,405			
47		運用財産残高（16-46）→次年度繰越金	0	0	0			
48		特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	41,131,773	42,616,056	-1,484,283	
49				余剰金からの繰入(30%を超える分)	0	0	0	
50				上記以外の余剰金からの繰入	0	13,261,242	-13,261,242	
51				収入合計（48+49+50）	41,131,773	55,877,298	-14,745,525	
52	八王子分収林育成事業支出			0	0	0		
53	支出		学生援助事業支出	0	5,000,000	-5,000,000	本年度は事業費から支出	
54			被災会員支援事業支出	0	0	0		
55			図書等刊行事業支出	0	0	0		
56			その他本財産に適合する事業支出	0	10,000,000	-10,000,000	本年度は事業費から支出	
57			支出合計（52～56の計）	0	15,000,000	-15,000,000		
58	特定目的事業財産残高（51-57）→次年度繰越金	41,131,773	40,877,298	254,475				
59	合計（7+47+58）	371,131,773	370,877,298	254,475				
60	特定資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0	平成15年8月評価	
61	総合計（59+60）			404,009,173	403,754,698	254,475		

【別記5】 副会長交代及び理事退任（案）の件

同窓会会則第11条第1項第一号「会長、副会長は、理事会が推挙し総会で選任。」及び同窓会則第11条第1項第二号「理事はそれぞれの部会の推薦による者のほか理事会の推薦による者を総会で選任する」により、部会長の交代と理事の退任を認める。

＜副会長の交代＞

選出母体農学・生物生産学部会の部会長交代による交代

現副会長 板橋 久雄（農S39） 新副会長 内藤 廣信（農S41）

＜理事の退任＞

辞任による退任

長谷川 茂（製糸S29） 製糸・高分子・生命工学部会

逝去による退任

増澤 政男（織化S31） 応用分子化学部会

【別記6】 名誉会長・名誉顧問及び顧問の推挙の件

同窓会会則第12条「本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問をおくことができる。名誉会長、名誉顧問及び顧問は総会で推挙する。」及び名誉会長・名誉顧問・顧問の推挙規程第2条「名誉会長に推挙される資格は会長の職にあった者とする。」、第3条「名誉顧問に推挙される資格は、学長及び（財）東京農工大学教育研究振興財団理事長の職にあった者とする。」、第4条第一号長年に亘り（原則として4期8年以上）副会長等の要職にあった者、理事長の職にあった者、並びに・支部から推薦された者で、本会の発展に顕著な功績があったと認められる者とする。」、第5条「前3条の推挙は常務理事会の議を経て理事会が提案する。」により、下記の方々の推挙を提案する。

名誉会長 草野 洋一 養蚕S47

名誉顧問 松永 是 元学長

顧 門 羽田 有輝 製糸S43 元製糸・高分子・生命工学部会長（4期8年）

安田 勝年 製糸S42

元岐阜県支部長（昭和63年から副支部長等を務め平成26年度から平成29年度まで支部長を務められ、岐阜県支部の発展に寄与するとともに、本会の発展に顕著な功績があった。）

【別記7】 同窓会法人化の件**○第55回総会で承認する事項****①一般社団法人化定款・一部の下部規程（別添資料参照）****②規則体系と規則整備手続き**

以下の2件を提案する。

・規則を定款・規則・規程・細則の順に順位付けし、体系化する。

・規則整備については、法人化後速やかに行い、修正については議論を重ね遅くとも2年以内に完了させる。（別添資料参照）

③会長・副会長の留任（法人化後第1回総会終結の時まで）

（現行体制については、参考資料2参照）

④理事・監事・代議員の任期延長

通常、第55回通常総会において、平成30・31年度の理事・監事及び代議員を選出しなければならない。平成30年10月1日には新体制の一般社団法人としてスタートするので、残り4ヶ月の期間の体制について、以下のことを提案する。

記

現在の理事・監事及び代議員の任期を平成30年9月30日まで延長する。

（現行体制については、参考資料3・5・6参照）

支部からの要請による9月末日までの代議員交代（案）の審議

同窓会会則第17条 → 「代議員は正会員の中から部会及び支部が推薦し総会で選任する」

同窓会会則第14条第3項 → 「補欠のため、又は増員により就任した役員のは、それぞれの前任者又は現任者の任期の残任期間とする。」

＜代議員の交代＞

一支部一

山形県支部	現代議員	伊藤 澄夫 (製糸S46)	新代議員候補	大嶋 博之 (植防S60)
宮城県支部	現代議員	菅野 昭 (環保S53)	新代議員候補	相澤 孝夫 (林学院S58)
東京都支部	現代議員	山本 賢 (農工S43)	新代議員候補	畠山 晃 (林S40)
山梨県支部	現代議員	小林 均 (林S55)	新代議員候補	依田 健人 (製糸S57)
長野県支部	現代議員	飯島 章彦 (植防S50)	新代議員候補	中山 武幸 (環保S58)
山口県支部	現代議員	西山 貴史 (応化H15)	新代議員候補	佐藤 龍一 (化シスH24)

⑤理事長・副理事長及び常務理事の任期延長

通常、第55回通常総会において選出された理事の中から、会長が新たな理事長・副理事長及び常務理事を指名しなければならない。平成30年10月1日に新体制の一般社団法人としてスタートするので、残り4ヶ月の期間の体制について、以下のことを提案する。

記

現在の常務理事の任期を平成30年9月30日まで延長する。(現行体制については、参考資料6参照)

⑥設立時社員・設立時役員・法人化後の運営委員及び選挙管理委員の選任

一般社団法人化移行に伴い、設立時社員・設立時役員・運営委員及び選挙管理員候補として以下の方々を提案する。

設立時社員：	能條 武夫 (織高S48)	現会長
	田谷 一善 (獣医S46)	現副会長・獣医学部会長
	澤田 孚夫 (機械S40)	現副会長・機械システム工学部会長

設立時役員 (任期：平成31年度総会終結の時まで)

理事：	安藤 俊幸 (蚕糸S49)	現蚕糸生物部会長
	柿内 久弥 (農化S54)	現農芸化学・応用生命化学部会長
	本山 芳裕 (林S48)	現林学部会長
	千田 武 (織高S46)	現繊維・有機材料部会長
	高野 文夫 (化工S51)	現化学工学部会長
	加藤 美治 (MOT H21)	現MOT部会長
	滝山 博志 (化工S62)	現理事長
	千年 篤 (農S58)	現副理事長
	桑原 利彦 (生機S57)	副理事長候補者
	三宅 信行 (環保S55)	現広島県支部長
	栗原 績 (農工S42)	現静岡県支部長
	河野 詠 (獣医S45)	現山形県支部長
	村松梅太郎 (獣医S39)	現栃木県支部長
	馬場 信行 (林S35)	現東京都支部長
	佐々木良和 (農工S39)	現大阪府支部長
監事：	畑 泰之 (織工S37)	現監事
	加藤 誠 (農工S44)	
	鈴木 創三 (農S47)	現常務理事

選挙管理員 (任期：第55回総会終結後～2020年度総会終結の時まで)

委員長	峰松 敏夫 (農S47)
委員	肥土 邦彦 (農S48)
	菅野 茂樹 (織高S49)
	望月 淳夫 (機械S50)

○立候補代議員の公募——選挙管理委員長名でHP (7月末日) 及び農工通信 (8月発行) に公募文

○総会代議員候補者の推薦 (9月30日までに)

——各部会・各支部から推薦を受ける (各部会長・各部会代議員・各支部長・各支部代議員)

○理事会 (11月10日) での承認事項

- ・理事長・副理事長・運営委員の追認
- ・副理事長が理事長の代行をする場合の順位

○副会長会議 (部会長会) (11月10日) での承認事項

- ・次期会長候補者の代議員候補者としての推薦
- ・副会長が会長の代行をする場合の順位
- ・法人化後第1回総会後の理事候補の選任（選任ルール決定）

○支部長会（11月10日）での承認事項

- ・法人化後第1回総会後の理事候補の選任（選任ルール決定）

○被選挙人名簿の確定

○代議員選挙（平成31年1月）

別添資料、参考資料2・3・5・6につきましては膨大な量になりますので、東京農工大学同窓会のホームページ（<http://www.tuat-dousokai.org/>）に掲載いたします。

ご質問があれば、事務局長の池谷

TEL042-364-3328 メールアドレス（info@tuat-dousokai.jp）までお寄せください。

【別記8】 設立時理事会の審議の件

設立時代表理事：滝山 博志（化工S62） 現理事長

設立時業務執行理事：千年 篤（農S58） 現副理事長

桑原 利彦（生機S57） 副理事長候補者

運営委員（任期：平成30年10月1日～平成31年度総会終結の時まで）

滝山 博志（化工S62） 現理事長

千年 篤（農S58） 現副理事長

桑原 利彦（生機S57） 副理事長候補者

野村 義宏（農化S59） 現常務理事

渡辺 元（獣医S54） 〃

戸田 浩人（林S59） 〃

赤井 伸行（環資H11） 〃

水川 薫子（環資H18） 〃

亀山 秀雄（化工S48） 〃

斎藤美佳子（工化H1） 〃

村上 尚（応化H12） 〃

富永 洋一（物生H7） 〃

野口 恵一（材料H1） 〃

一般社団法人化に伴う代議員選挙について

同窓会事務局長 池谷 紀夫

同窓会第55回理事会・通常総会報告にもありますように、5月26日開催の総会で、昨年度の総会で提起されました一般社団法人へ移行することが承認されました。平成30年10月1日移行予定です。詳細については、東京農工大学同窓会のホームページ（<http://www.tuat-dousokai.org/>）に掲載いたします。

会員の皆様に直接関係のある事項は、今まで総会は、役員、代議員、支部長及び60人以内の正会員をもって構成されておりましたが、すべて代議員選挙により選出された代議員で構成されることとなります。

代議員は、2年に1度選挙を実施して選出することになっております。初回の代議員選挙は、法人移行後の平成31年1月発行の農工通信配布時に選挙投票用紙を同封し、ご返信いただく形で実施いたします。

選挙に関する詳しいお知らせは、45ページに掲載しております。

同窓会役員等体制と支部長 及び 連絡員表

同窓会役員等体制 (平成30年6月現在)

会 長

能條 武夫 (織高 S48)

副会長

内藤 廣信 (農 S41)
 安藤 俊幸 (蚕糸 S49)
 佐藤 令一 (植防 S54)
 柿内 久弥 (農化 S54)
 佐藤 敬一 (林産 S56)
 楊 宗興 (環保 S54)
 本山 芳裕 (林 S48)
 島田 清 (農工 S48)
 小池 伸介 (地生 H13)
 田谷 一善 (獣医 S46)
 草間 健一 (製糸 S43)
 千田 武 (織高 S46)
 高野 文夫 (化工 S51)
 前川 佳博 (工化 S48)
 澤田 孚夫 (機械 S40)
 竹村 淳 (電子 H3)
 水野 隆司 (応物 S46)
 王 大慶 (情報院 H24)
 加藤 美治 (MOT H21)
 二見 能資 (生シ院 H14)
 船田 良 (連農 S63)

常務理事

理 事 長 滝山 博志 (化工 S62)
 副理事長 千年 篤 (農 S58)
 総務部長 野村 義宏 (農化 S59)
 副部長 渡邊 敏行 (材料 S61)
 〃 馬場真知子 (林学院 S51)
 〃 斎藤美佳子 (工化 H1)
 経理部長 鈴木 創三 (農 S47)
 副部長 西澤 宇一 (機シス H12)
 事業部長 渡辺 元 (獣医 S54)
 副部長 戸田 浩人 (林 S59)
 〃 夏 恒 (機シス工博 H7)
 〃 渡辺 直明 (林 S51)
 広報・情報部長 亀山 秀雄 (化工 S48)
 副部長 近江 正陽 (林産 S60)
 〃 村上 尚 (応化 H12)
 〃 野口 恵一 (材料 H1)
 〃 赤井 伸行 (環資 H11)
 〃 富永 洋一 (物生 H7)
 〃 水川 薫子 (環資 H18)

監事

畑 泰之 (織工 S37)
 生原喜久雄 (林 S41)
 淵野雄二郎 (農 S43)

事務局長

池谷 紀夫 (農 S49)

同窓会支部長及び連絡員 (平成30年6月現在)

支部名	支部長名	連絡員名
北海道	宇野澤正美 (農工 S46)	伊藤 隆之 (農工 S62)
青 森	山館 昭夫 (林 S52)	白石 一志 (農 H4)
秋 田	野村 俊悦 (農 S44)	吉田 育男 (植防 H4)
岩 手	山田 互 (農 S52)	藤原 哲雄 (農 S60)
山 形	河野 誼 (獣医 S45)	川崎 聡明 (生産 H9)
宮 城	鈴木 正彦 (林 S57)	大類 清和 (林 H2)
福 島	荒井 賢治 (農工 S47)	阿部 正久 (林 H5)
茨 城	川野 和彦 (林 S50)	磯邊 晋吾 (林 S62)
栃 木	村松梅太郎 (獣医 S39)	南木 好樹 (農工 S58)
群 馬	小野宇三郎 (織別 S33)	影澤 圭太 (林産 H3)
埼 玉	金本 伸郎 (農 S51)	田村とき也 (生産 H7)
千 葉	前之園孝光 (獣医 S44)	津金 胤昭 (応生 H6)
東 京	馬場 信行 (林 S35)	渡辺 彰 (農工 S43)
神奈川	真子 正史 (農 S41)	高橋 恭一 (蚕糸 S62)
新 潟	和唐 博恭 (製糸 S44)	高橋 紀男 (農工 S60)
富 山	林 繁利 (工化 S39)	飯野 師 (地生 H18)
石 川	森倉 正信 (養蚕 S48)	西山 宏 (環・資 H6)
福 井	友田 慶一 (織工 S42)	新海 隆介 (環・資 H12)
山 梨	篠原 隆美 (養蚕 S44)	藤川 裕 (生産 H8)
長 野	飯島 章彦 (植防 S50)	小松 栄介 (環・資 H8)
岐 阜	安田 勝年 (製糸 S42)	雨宮 功治 (植防 S60)
静 岡	栗原 績 (農工 S42)	石川 晴子 (地生 H16)
愛 知	瀧上 紀吉 (機械 S41)	水野銈一郎 (農 S42)
三 重	古野 優 (獣医 S60)	西野 実 (生産 H7)

支部名	支部長名	連絡員名
大 阪	佐々木良和 (農工 S39)	中野 淳 (機械 S60)
京 都	西村 寿 (農工 S50)	松井 崇 (農工 S51)
滋 賀	勝田 謙次 (織化 S34)	南井 隆 (林 H1)
奈 良	太田 道明 (農工 S42)	望月 昇 (化工 S57)
和歌山	毛呂 眞 (林 S41)	中村 純子 (環・資 H6)
兵 庫	上坂 修一 (林産 S54)	安徳 剛志 (林 S59)
岡 山	内藤 照章 (獣医 S34)	谷 智仁 (林 S61)
広 島	三宅 信行 (環保 S55)	石田 一之 (機械 S59)
山 口	松村 聡 (工化 S46)	岡本 賢一 (植防 H4)
鳥 取	江原 宏昭 (農院 S48)	門脇 互 (製糸 S54)
鳥 根	桑本 幸夫 (林産 S56)	松浦 史瑞 (林産 H1)
香 川	岡崎 進 (獣医 S38)	河野 幸彦 (林 S63)
徳 島	長谷川 進 (化工 S47)	小杉純一郎 (林 S63)
高 知	寺峰 孜 (養蚕 S45)	豊田 陽一 (蚕糸 S57)
愛 媛	鈴木 東義 (工化 S39)	尾中 直道 (林 H7)
福 岡	西田 晴二 (獣医 S41)	白石 哲広 (林産 S50)
佐 賀	御厨秀樹 (代行) (植防 S56)	御厨 秀樹 (植防 S56)
長 崎	内山 満 (林 S49)	古賀 淳士 (農 S52)
熊 本	安尾 博徳 (農工 S49)	永山 裕治 (環保 H1)
大 分	松久 房義 (蚕糸 S50)	古長 茂重 (林産 S63)
宮 崎	金丸隆一 (逝去) (林産 S48)	井之上英行 (農工 H4)
鹿児島	上原 武志 (植防 S42)	平 繁人 (養蚕 S45)
沖 縄	城間 恒紀 (農化 S42)	河口 哲也 (応生 H6)
横濱会	児玉 満男 (製糸 S34)	松島 稔 (製糸 S37)

叙勲受章にあたり

【平成29年秋の叙勲】

緑一筋

水庭 博 (林S49)



平成29年秋の褒章に際し、黄綬褒章受章の栄に浴し、昨年の11月14日に国土交通省にて褒章の記・褒章の伝達を受け、引き続き皇居へ参内し、天皇陛下に拝謁し、お言葉を賜り感激の極みでございました。

した。

これも偏に、長年に亘って御指導ご厚情を頂きました皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

私は昭和45年に農工大に入学させて頂きましたが、当時は前年に東大安田講堂等の学園紛争が激しく、その後も成田の空港反対運動等もあり、一般教養の講義中に活動家が乱入したり、又市ヶ谷自衛隊で三島由紀夫の割腹自殺等もあり騒然とした時代ではありました。

又、公害が社会問題化し環境庁が発足し、自然保護・環境保護の気運が醸成されつつあり、元来植物や自然に対する思いがあったことが林学科を志望した理由であったように思われます。同期入学は40名でしたがあまり勉学に身が入らず、かろうじて四年で卒業できたものでした。

漠然と自分には研究職や公務員には向かないと考えていましたが、研究室に林産学科卒の先

輩がリクルートに來られて、西武鉄道グループの緑化・造園部門に採用されました。一年間の新入社員研修教育がありグループの西武園・プリンスホテル等の観光施設・マンション建設・北海道のゴルフ場造成現場等をまわり最後に所沢駅の駅務研修を経て、池袋の本社に配属されその後関西に6年、又本社に戻り最後に千葉勤務、13年在職して西武を退社し、昭和62年に茨城県日立市にある造園工事業・緑化樹木生産を主たる業務とする(株)水庭農園に入社し、平成10年には代表取締役役に就任し現在に至っています。

平成4年には、業界団体の理事に選任され25年造園業の地位向上発展、技術者・後継者の育成等の功労が今回の受章に結びついたものと思っております。

いわゆる専門分野では、これと言って誇れるものはありませんが、研究室が自然保護分野の植生管理学(樹病学)であったことで、樹木医に合格し、恩師の中村克哉先生に報告できたことが唯一のことでしょう。

東京農工大学は歴史もあり、立派な先輩方がたくさんおられることはもちろんですが、反面卒業生の数自体はさほど多くないため、徒党を組むようなこともありませんが、必ずその分野で地道な努力で業績をあげて頭角をあらわすタイプが多いように感じます。

今後ともこの榮譽に恥じることなきよう、東京農工大学の名を汚さぬよう緑を通じ美しい地域環境づくりや次世代の青少年の育成に少しでもお役に立てればと心より念願しております。

【平成29年春の叙勲】

楽しかった農工大学での思い出

横手 一郎（名誉教授）



平成29年春の叙勲に際し、宮田清蔵元学長と共に瑞宝中綬章を授けられ、皇居春秋の間において天皇陛下の拝謁を受ける光栄に浴しました。このことについて農工通信への寄稿の依頼がありましたので

これを機に自分自身のこれまでにについて簡単に振り返らせていただきたいと思います。私は東京教育大学理学部および理学研究科で微分幾何学を専攻し、1966年に静岡大学教育学部に就職、1968年に東京農工大学一般教育部に移り（1時間目の授業中に3億円事件勃発）、1995年に改組で機械工学科に所属し、2001年の定年まで大変充実した楽しい生活を送らせていただきました。受章の通知があったとき、立派な仕事をされた多くの先輩や同僚たちをさしおいてなぜ私がと驚きました。受章の一般的な理由は研究と公的な教育に貢献した人が対象のようですが、自分は誇るような研究成果を挙げておりませんので教育面について述べさせていただきたいと思います。一般教育部では主として微積分と線形代数を、工学部では幾何学の講義を担当しましたが、学生たちと意気投合してコンパによく誘われたりし、大学構内の官舎に住んでいたのが学生たちがよく遊びにきて飲み会を開いたりしました。何十人かの卒業生とは今でも交流があって結婚式に招待され3組の仲人を務めましたし、また一緒に家族旅行をしたり、土浦の我が家で飲み会を開いたりしています。

一般教育部には見識と個性豊かな先生が大勢おられて長い間楽しくお付き合いをさせていただきました。いろいろな世相の意見により改組され

て私も機械工学科の所属となりましたが一般教育は学生の人格形成に必要であると今でも思っております。また工学部では電気と応用物理の先生たちととても親しくさせていただき、とくに応用物理では職員旅行に何回もお誘いいただき楽しい思い出となりました。元学長の喜多先生とは今でも親しく文通を続けております。

また非常勤講師として電気通信大学に35年間、静岡大学に夏休みと冬休みの集中講義を同じく35年間勤めさせていただきました。

教育とは直接関係ありませんが、39歳から定年まで職員野球部（事務職員が大多数）に所属して選手、監督、部長を務めました。選手兼任で監督に就任した時、東京都の国立大学の大会で万年2部だった我がチームが2部で優勝して1部に昇格しここでも準優勝して胴上げを経験したりして事務職員との懇親をはかりました。

1995年に大学入試センターの数学の出題委員を命じられました。年間40日センターに出向し任期は2年なので気楽なつもりで引き受けたのですが副部長に選出されました。2年目は自動的に部会長になります。委員の中には数学会の理事長経験者や何とか賞をいただいた偉い先生方がおられて司会をするのに初めはプレッシャーを感じましたが皆さん一致協力して作題にあたられ楽しく仕事をすることができました。これで無事にお役目終了と思っていたのですが高等学校で数学のカリキュラムが大幅に変更となり数学Aとか数学Bという選択制の科目が導入されそれに伴って数学の大学入試センター試験を変更せざるを得なくなり試作問題作成委員会が設置され部会長に横滑りさせられてしまいました。そんなことが縁となり、普通は任期2年なのに、出題の委員会で5年、問題チェックの委員会を9年と合計14年（部会長を6年）も務めることになりました。こんな委員はいないようです。

ほかに文部省による数学の教科書の検定委員を2期務めました。

こんな事がいささかでも評価されたのかなと

思っております。

とりとめもないことを長々とのべてしまいました
が、受章させていただいたのはひとえに皆様の善
意にささえられたお蔭であると感謝の気持ちで一
杯です。皆様のご多幸を祈ってやみません。

叙勲「瑞宝中綬章」を受章して

真木 太一（農S41）

平成29年春の叙勲「瑞宝中綬章」（教育研究功
労）に際して同窓会よりご丁寧な祝辞をいただき
感謝致します。

私は現在、九州大学名誉教授、日本学術会議
連携会員ですが、評価に当たっては、大学での教
育評価と研究方面での業績評価に因るところが
大と推察しました。特に、日本学術会議会員・農
学委員長等多くの委員長（国家公務員特別職、非
常勤）の評価であると思われます。なお、2005年
春、紫綬褒章（農業気象学研究）を受章している
こともあり、比較的早く叙勲に成ったかと推測し
ています。現在は連携会員で2023年までの任期に
なっています。

さて、農工大－九大大学院－農林・農水省試験
研究機関（農技研、農環研、四国農試、熱帯農研
セ、農研セ、農環研）－愛媛大－九州大－琉球大
－筑波大－国際農林水産業研究セ－北大と異動が
多くありました。その間、南極越冬隊員（1969～
71）、フロリダ大留学（1977～78）および中国乾燥
地での各種調査（1年半）がありました。

ところで、農工大では農学科に所属し、当時農
芸化学科から移ってきた土壌学研究室（当時の黒
部隆教授・戸谷ますみ女史）で、異端ですが農業
気象を卒論（加工用トマトの栽培密度と微気象）
としました。爾来、気象・気候で研究課題はかな
り広範囲に及びますが、特に「風」一筋に研究に
没頭し、論文等を人一倍執筆してきたと思ってい
ます。しかし、振り返ってみますと、研究・教育
者でありながら転勤の人生であったようにも推察

します。このため家族には苦勞を掛けたと思いま
す。しかし、妻共々、2回にわたり皇居での天皇陛
下拝謁は、両親姉兄に対しても、さらには高校ま
での先生方にも、幾分なりとも恩返しできたよ
うに思っています。

このことに関連して、先に書くべきかも知れま
せんが、農工大での先生方、九大大学院（武田
教授）や学位取得（植被層内外の風に関する空
気力学的研究）での東大の先生方（斉尾・上村
教授）、多くの研究所・大学等でお世話になっ
た方々に、心より御礼申し上げます。

研究暦を記述すると、南極（超安定気層～雪嵐
気象での乱流特性、南極気象・気候、極高気圧
の生成と構造、海水上で熱収支、施設による雪
ドリフト、オゾン濃度）、フロリダの農業気象・気
候、松防風林の乱流評価、植被層内外の空気力
学的風特性、防風林・垣・網による冷害気象改良、
風害と防風施設、防風網の基準化と乱流評価、各
種風害・気象災害防止、農業気象学用語解説集
発行、地球温暖化と農業気象、砂漠化気象、中国
の砂丘移動、草方格の微気象評価、飛砂・黄砂特
性、黄砂と口蹄疫、風の事典発行、液体炭酸人工
降雨、森林火災と気象改変等々です。多岐にわた
るかと思えます。

著作物は、原著論文107編、著書46冊（単著12
冊、代表共著9冊）、学会・商業誌約360編、資料
等約660編、学会発表約820編、講演約260編、新
聞等約240編、テレビ・ラジオ27編、表彰33編、そ
の他約500編、総計約3200編です。これを見ると、
我ながら頑張ったものと感心しています。



瑞宝中綬章の受章後、文科省前にて

退職にあたり

農学研究院教授 片山 葉子



昭和58年2月に農学部助手に着任以来、35年余りを武蔵野の面影の残るキャンパスで教育と研究に勤務させていただきました。途中、病を得たりも致しましたが、なんとか無事に勤めを全うできましたこととてもありがたく、幸いなことであったと感謝しております。在職中は大学にも様々な変革がありましたが、特に印象深い事柄は女性の教員数が格段に増えたことです。キャンパスのあちらこちらで颯爽と活躍されている女性教員の姿を、ごく自然に目にすることが出来るようになったことは、何にも増して嬉しい事でした。研究面では微生物の硫黄酸化反応を中心に研究を行ってきましたが、府中キャンパスの農場や栃木県にあるFM唐沢山などの施設を使わせて頂いてのフィールド調査はとても貴重な経験で、このような施設を使える環境にあることをとても有り難く思いました。これからも東京農工大学がますます発展されることを心から祈念し、退職のご挨拶とさせていただきます。

農学研究院教授 下田 実



私は昭和57年4月、第一製薬株式会社中央研究所から獣医薬理学研究室の助手として赴任して参りました。以来36年間、本学で教育・研究に携わり、この3月に無事退職いたしました。この間、思い通りに好きな研究を行うことが出来る幸せを満喫いたしました。優

れた学生さんたちに恵まれ、研究室で楽しいときを過ごさせていただきました。

私の研究は薬物動態学と呼ばれる分野に属し、薬物投与後の動物体内での薬物の動きをモデル化し、コンピュータを用いて速度論的に解析することが主な手法の一つとなっています。赴任当初は、本学の計算機センターの大型コンピュータでも計算に10分ほどの時間を要しました。しかし、現在では、同じ計算を通常のパソコンを用いても計算に要する時間はわずか数秒です。これは36年間で感じた「時の流れ」の一例ですが、様々なものがめまぐるしい速さで進歩・変化していることを新ためて感じている次第です。

最後になりますが、36年の間本学の皆様には大変お世話になり、心からお礼申し上げます。また、農工大の益々の発展をお祈りいたします。

農学研究院教授 高橋 信弘

平成9年7月に東燃株式会社より農学部応用生物科学科の教授として赴任し、20年間の白駒過隙の如く感じる時間を学生・教職員の方々と共に過ごさせていただきました。皆様には心より御礼申し上げます。この間、企業と大学の違いに戸惑いながらも、法人化により大学の存在基盤が、社会全般を支える科学の発展のためから大学の自立と国の経済発展のための人材育成への貢献へと変遷する様を目の当たりにし、大学の本来の役割が何かを考えさせられました。同時に、世界での研究が組織的に進められる状況となり、大学の研究がどう進められるべきかを考えさせられました。しかし、何れの状況下でも、個々の研究室（教員）の研究力・教育力こ

そが大学の存続基盤の要であり、個々の研究室（教員）を強化する幅広い支援とそれを支える体制の構築があれば東京農工大学が世界に冠たる研究大学としての地位を確立できると信じております。今後の大学の益々の発展をお祈り致します。

工学研究院教授 山田 晃



私が本学に着任した平成元年は、博士課程の設置に伴って、工学部が三つの大学科に改組された年でした。その後私にとって転機になったのは、平成7年に本学の独立部局として新設された生物システム応用科学研究科（略称BASE）に移ったことです。いつのまにか退職の日を迎え、とうとうBASEに骨を埋めることになってしまいました。超音波計測が私の本来の専門ですが、BASEの看板に合わせて生体や環境計測への応用を意図したテーマに舵を切りながらやってきました。異分野の寄り合い所帯の中で、学生とともに物作りに汗を流し苦勞を分かちあった思い出が、今の私の大事な宝になりました。悪戦苦闘しながら何とかやってこられたのは、時々学生から貰った元気と、教職員皆様の温かいご支援のたまものと感謝しています。皆様の今後のご活躍と東京農

工大学のますますの発展を切にお祈り申し上げます。

工学研究院教授 須田 良幸



平成2年4月1日に現在の電気電子工学科の前身の電子工学科の助教授に着任し、本学に退職まで28年間お世話になりました。この間の活動を振り返りますと、多くの教員および職員の皆様、学会や共同研究等の皆様の輪の中で、ここまで進んでこれたと言うことを改めて強く実感しております。学位論文で私の研究室で育った学生の皆様も延べ247名を数え、数多くの成果に至ったその努力に対して深く感謝すると共に、長い間、優秀な学生の皆様と共に研究ができたことを幸せに思っております。28年間の研究の中では、環境軽負荷な技術の構築を目指し、材料の探索から始め、その成膜法およびデバイスへの応用に至るまでの研究を進めました。この過程で、今までにない成膜特性の導出に至り、優れた特性のデバイスの作製にも結びつきました。今後は実用化に向けた新しい共同研究講座を通じて、多少なりとも本学にご支援ができればと思います。最後に本学と同窓会のますますの発展をお祈り申し上げます。

定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、平成31年3月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思います。祝賀会に参加希望される場合は、各先生方の研究室にお問い合わせください。

農学研究院 梶 光一 教授
 農学研究院 澁澤 栄 教授
 農学研究院 中田 宗隆 教授
 農学研究院 松田 浩珍 教授
 工学研究院 佐藤 容子 教授

工学研究院 篠原俊二郎 教授
 工学研究院 内藤 方夫 教授
 工学研究院 細見 正明 教授
 先端産学連携研究推進センター 松下 文夫 教授
 （氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみです）

平成29年度 同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業では、在学生（準会員）の学会発表、コンテスト・コンクールへの出場、優秀卒業論文、種々の課外活動、学園祭に対して「同窓会研究課外活動奨励賞」および副賞を授与しています。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終身会費・年会費）や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。平成29年度の援助金総額は5,770,530円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事 項	件 数	金 額
学会発表 <参加・出場>	578名	2,890,000円
学会発表 <入賞>	77名	415,000円
コンテスト・コンクール <出場> (国際大会含)	5名・21団体	235,000円
コンテスト・コンクール <入賞> (国際大会含)	3名・10団体	70,000円
学会誌・論文誌発表	2名	30,000円
優秀卒業論文	10学科	100,000円
課外活動 <学園祭>	1件	100,000円
課外活動 <サークル活動>	20件	1,000,000円
課外活動 <リーダーズトレーニング>	1件	50,000円
キャリアアドバイザー支援	2名	120,000円
卒業・修了証書カバー支給	1,690名	760,530円
合 計		5,770,530円

※詳細については、同窓会ホームページ(<http://tuat-dousoukai.org/guide/student.html>)をご覧ください

＝平成29年度「同窓会研究課外活動奨励賞」受賞者のコメント＝

大学院農学府生物制御科学専攻2年 太田 理絵さん

この度は、学生援助事業の奨励賞をいただき、誠にありがとうございました。私は、アメリカのサンディエゴで行われたSociety for Invertebrate Pathologyという学会にて、ウイルスと寄生蜂という農業害虫の天敵どうしの面白い関係について発表し、ポスター賞を受賞いたしました。毎日研究室に通い、実験を積み重ねた成果を多くの人に聞いていただくことができ、大変嬉しく思っています。このことを評価していただき、今回の援助をいただいたこと、また感謝の意を述べる機会を作っていただいたことに、心より感謝申し上げます。これを励みに、今後も精進してまいりますので、引き続きご支援ご指導の程よろしくお願いいたします。



工学部機械システム工学科3年 松尾 賢治さん

この度、第13回全日本学生室内飛行ロボットコンテストのユニークデザイン部門にて、空中での2機分離と同時飛行、そしてバック飛行等の変則飛行が可能な飛行船ロボットを製作して出場し、同部門1位のエージービー賞及びベストポスター賞（KYB賞）を頂きました。この度はご支援頂き誠にありがとうございました。自分の活動を高く評価して頂き、コメントを出す機会を頂けたこと、大変光栄に思います。今回名前を出させて頂いたのは自分ですが、この成果は、周囲の支えや、常日頃から我々をご支援してくださる同窓会の皆様のお力があったからこそのものだと思っております。ご支援して頂いた思いにお応えできるよう、今後とも気を引き締めて活動してまいります。



お知らせ 学生援助事業の援助対象者が一部変更になりました（詳細はHPにて）

本学に在籍中の学部学生または大学院学生で下記の1、2に該当する者

1. 入学時に保護者が賛助会費を納入した者
2. 終身会費または年会費を納入した者

会員種別については、住所ラベルに「賛助会員」終身会員は「終身」等、記載されております。申請時にはご確認ください。

第60回 農工祭

11月9日金～11日日開催!

詳しくは [東京農工大学 農工祭](#)

府中キャンパスにて

部会・支部・クラス会だより

部会・支部・同好部会・クラス会だよりの最新情報は、同窓会ホームページに随時掲載していますので、ぜひご覧下さい。

部会だより

MOT 部会総会

日 時 平成29年4月8日(土)
 開催場所 田町CICキャンパスイノベーションセンター
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 23名
 実施事項 1. 基調講演「回転ロス半減技術によるイノベーションの課題に取組む」元東京農工大大学院 今岡先生
 2. 2016年度MOT部会活動報告及び、決算承認
 3. 2017年度MOT部会活動計画
 幹事・報告者 加藤 美治 (MOT H21)

<幹事のコメント>

基調講演は、今岡先生が現在自ら取組んでおられる回転ロス半減技術課題についてお話して頂いた。この技術は回転軸の振動を抑えることが可能でエネルギーロスを大幅に削減できる画期的なものである。

基調講演の後に、毎月開催している勉強会であるMOTサロンの2016年度活動報告と2017年度の活動計画を説明した。MOTサロンは、異なった環境で活躍されている皆様の継続した自己啓発の場であるとともに、情報交換や気づきを得る交流の場でもある。

製糸・高分子・生命工学会部会総会(製糸部門)



日 時 平成29年6月17日(土)
 開催場所 農工大小金井キャンパス140周年記念館エリプス
 派遣理事名 草野前同窓会長(来賓)
 参加人数 90名
 実施事項 1. 総会 2. 同窓会からの感謝状の贈呈 3. 懇親会
 幹事・報告者 羽田 有輝、草間 健一(製糸S43)

<幹事のコメント>

昭和39年以降の製糸部門総会・懇親会が開催され、90歳台の同窓生を含む90名余が出席しました。総会では、草間新部会長の司会の下、羽田前部会長による開催の経緯や今後の活動方針が提案され、満場一致で承認されました。また、製糸部会製糸女子部長小此木エツ子氏への同窓会からの感謝状が授与されました。懇親会では草野前同窓会長の来賓挨拶があり、勝野同窓会顧問の乾杯で懇親会がスタート、談話の輪が広がり、中締めは三木部会役員で再会を約し、盛況のうちに終える事が出来ました。

獣医学部会総会



日 時 平成29年7月1日(土)
 開催場所 府中キャンパス2号館21号教室
 派遣理事名 渡辺 元 常務理事
 参加人数 40名
 実施事項 部会総会、研究講演会、懇親会
 幹事・報告者 渡辺 元(獣医S54)

<幹事のコメント>

獣医学部会では、毎年総会を開催しており、合わせて研究講演会を実施し、共同獣医学科在校生や他学科の学生の参加も歓迎しています。研究講演会では、時代に即した話題を選び、同窓生から講師を選定しています。本年は①「岩手大学における牛白血病の研究」岩手大学農学部教員 彦野 弘一 氏(獣医H4) ②「犯罪鑑識における獣医師の役割」警察庁科学警察研究所 今泉 和彦 氏(獣医H4) ③「平成30年度設置共同獣医学専攻」本学農学部教員 渋谷 淳 氏(獣医S58)の3題の講演を行いました。終了後に懇親会を行い、同窓生の親睦を深めました。来年度からは、岩手大学・東京農工大学共同獣医学科の卒業生が加わることになるので、同窓会獣医学部会のさらなる活性化を考えています。

生産環境工学会部会総会



日 時 平成29年11月25日(土)
 開催場所 農学部第1講義棟・同窓会50周年記念ホール
 参加人数 25名
 実施事項 総会、講演会、懇親会
 幹事・報告者 東城 清秀(農工S54)

<幹事のコメント>

11月25日(土)生産環境工学会部会総会が開催され、会務報告、会計報告等が承認されました。続いて、福田信二氏「府中用水における生態水理研究」、櫻本恵氏(農工S57)「世の中の持続可能な発展に向けた動き」の講演が行われました。その後、50周年記念ホールに場所を移して、懇親会が開かれ、楽しい宴は19時頃終了となりました。

支部だより

北海道 支部



日 時 平成29年10月28日(土)
 開催場所 ネストホテル札幌駅前
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 21名
 実施事項 北大総合博物館見学、総会、母校の現状、ミニ講演会、懇親会
 幹事・報告者 横田 奈美(地生H18)

<幹事のコメント>

総会前に、前支部長の長谷川周一(農工S46)北大名誉教授の案内による北大博物館の見学会を実施しました。館内の多様な展示も構内の美しい紅葉も、大変見応えのあるものでした。

総会後は、鈴木先生から、母校の現状や土壌粘土鉱物とカリウム肥料の関係性等について、ユーモアたっぷりにご講演いただきました。

懇親会では、自己紹介・近況報告で大いに盛り上がり、時間が足りないほどでしたが、最後は、学歌や寮歌を熱唱し、終始賑やかな会となりました。

初めて同窓会支部総会に出席した感想としては、先輩方の多方面でのご活躍を知る良い機会となったので、若い世代の参加を増やし活性化を図れればと思いました。

青森県 支部



日 時 平成29年11月3日(金)
 開催場所 つかさ
 参加人数 16名
 実施事項 議事内容
 ①同窓会の一般社団法人化説明会について
 ②会員の近況報告等
 幹事・報告者 白石 一志(農H4)

<幹事のコメント>

北国青森の晩秋、めっきり寒くなりました。近年は隔年で開催していましたが、昨年に引き続き開催しました。参加者は昭和23年卒業から平成29年卒業までと幅広く、大先輩から農工大の歴史を、若者からは農工大の近況を伺いながら楽しい時間を過ごしました。

宮城県 支部



日 時 平成29年7月15日(土)
 開催場所 ホテル白萩
 派遣理事名 渡辺 直明 常務理事
 参加人数 26名
 実施事項 支部総会、同窓会法人化の説明、派遣理事による講演会、懇親会
 幹事・報告者 大類 清和(林H2)

<幹事のコメント>

今回、平成23年の東日本大震災の混乱の中、就任された支部長、副支部長をはじめ、長年役員として活躍された方々が勇退されることとなり、若返りを図った新しい役員体制が議決されました。議事終了後、事務局から同窓会法人化の動きについて情報提供されるとともに、渡辺直明先生より、大学の近況と樹木診断に係るご専門の講演をいただきました。

今回の支部総会では、初めて参加した会員を含めて平成卒が過半を占めるとともに、会員のお子様3名も参加し、支部の更なる若返りを感じさせる賑やかな会となりました。

福島県 支部



渡辺教授(前列左から5人目)池谷紀夫事務局長(前列左から4人目)を囲んで記念撮影

日 時 平成29年7月15日(土)
 開催場所 パーティーホール「フロンティア」
 派遣理事名 渡辺 元 常務理事
 参加人数 35名
 実施事項 議事内容：平成28年度支部活動及び収支決算、平成29年度支部活動計画及び予算案、役員改選、同窓会の法人化について
 講演・討論会等：大学の近況について、懇親会
 幹事・報告者 高山 伸之介(地生H11)

<幹事のコメント>

議事に入る前、28年度からこれまでに支部事務局に連絡があった2名の物故者(飯島十三五氏、生沼俊夫氏)を黙祷によりご冥福をお祈りしました。

総会では、同窓会より法人化についての説明があり、平成28年度事業報告並びに平成29年度事業計画、役員改選についても満場一致で承認されました。また、支部30年記念誌の発行が報告され、参加者に配布されました。

懇親会では、乾杯後、渡辺元教授から母校の近況等についてご紹介をいただきました。また、目黒友氏(蚕糸S53)による歌の余興もあり、大いに盛り上がりました。さらに、大学校歌を教授と参加者が一緒に熱唱するなど、和やかな雰囲気での会が進行し、最後は参加者全員で万歳三唱を行い、来年の再会を胸に誓いつつ散会しました。

茨城県 支部



日 時 平成29年11月11日(土)
 開催場所 水戸三の丸ホテル
 派遣理事名 淵野 雄二郎 監事
 参加人数 37名
 実施事項 1. 事業経過報告、収支決算について
 2. 支部役員改選について
 3. 同窓会本部からの同窓会法人化及び大学の近況について
 幹事・報告者 三田村 剛(植防S63)

<幹事のコメント>

1967年に発足し、2017年で50年の歴史をむかえた年に茨城県支部の第23回総会及び交流会(隔年開催)を水戸市において開催しました。

総会では、支部役員の大改選が行われ3期6年務めた川村重信支部長(養蚕S40)から川野和彦幹事長が新支部長(林S50)に選出されました。交流会では、同窓会本部の淵野様から同窓会本部の法人化への経過や今後のあり方などについて丁寧に説明をいただきました。

今回は45年ぶりに茨城県で国体を開催する2019年に開催いたしますので茨城県在中の同窓生の皆様のご参加をお待ちしております。

栃木県支部



日 時 平成29年12月2日(土)
 開催場所 ホテルマイステイズ宇都宮
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 22名
 実施事項 総会、懇親会
 幹事・報告者 南木 好樹(農工S58)

<幹事のコメント>

総会では、鈴木創三常務理事より農工大の現状と同窓会の法人化についてご講演頂きました。支部顧問であります西川公也(農工S40)内閣官房参与(第56・57代農林水産大臣)にもご臨席を賜り、ご挨拶とともに国政の状況等についてお話を頂きました。総会では、新役員として、新副支部長に臼井博之氏(蚕糸S52)、新幹事に栃木県支部初となるヒロイン、大塚真紀氏(生産H16)が選任され、会場はとても和やかな雰囲気になりました。出席者からは、村松梅太郎支部長(獣医S39)の下、支部活動の更なる活性化に期待する声が上がりました。

群馬県支部



日 時 平成29年11月19日(日)
 開催場所 前橋市 大黒寿司
 派遣理事名 赤井 伸行 常務理事
 参加人数 35名
 実施事項 事業報告及び計画、同窓会の一般社団法人化説明
 幹事・報告者 影澤 圭太(林産H3)

<幹事のコメント>

総会と懇親会の二本立てで構成し、本学同窓会の一般社団法人化について説明し、意見交換を実施しました。昭和18年農学卒の登坂先輩を筆頭に、多くの同窓生に参加いただき、盛会に開催することができました。来年度は、更に規模を拡大し、参加者50名を目標とし、小野支部長を中心に会を盛り上げて参りたいと思います。

東京都支部



日 時 平成29年6月24日(土)
 開催場所 東京農工大学工学部内 科学博物館
 参加人数 総会7名、講演会57名
 実施事項 総会、講演会(第1回イノベーション研究会講演会)科学博物館見学 主催：農工大同窓会イノベーション研究会、協力：同窓会東京都支部、農工大支援ネットワーク
 幹事・報告者 渡辺 彰(農工S43)

<幹事のコメント>

議事に入る前に支部連絡員山本賢氏(農工S43)急逝の報告があり、ご冥福をお祈りしました。馬場信行支部長(林S35)より活動の重点は「けやきクラブ」の開催と農工大同窓会イノベーション研究会との協働に置くこと、役員変更の提案があり、了承されました。第1回イノベーション研究会の講演は、川名先生の「富岡製糸場の高度な製糸技術」及び壁矢先生の「紡績技術の変遷にともなう製品事例紹介」というテーマでした。講演と科学博物館(旧繊維博物館)見学を通して、より良い製品に対する製糸技術者の持つ熱い思いを感じる一日となりました。

神奈川県支部



日 時 平成29年9月23日(土)
 開催場所 ワークピア横浜
 派遣理事名 渡邊 敏行 常務理事
 参加人数 30名
 実施事項 平成29年度総会及び懇親会
 幹事・報告者 高橋 恭一(蚕糸S62)

<幹事のコメント>

今回は横浜で神奈川県支部総会を開催しました。総会の前にシルク博物館の見学を行いました。総会では28年度決算、29年度予算、真子新支部長をはじめとする新役員が承認されました。引き続き渡邊先生から大学の近況等、池谷事務局長から同窓会の法人化について説明をしていただきました。懇親会では、先輩方から西ヶ原、駒場寮歌、繊維学部の歌、林科の歌が披露され、大いに盛り上がりつつある中での散会となりました。

新潟県支部



日 時 平成29年6月24日(土)
 開催場所 みのりみのる新潟店
 派遣理事名 滝山 博志 理事長
 参加人数 17名
 実施事項 総会
 幹事・報告者 高橋 紀男(農工S60)

<幹事のコメント>

来賓として迎えた本部の滝山理事長から同窓会法人化に向けた取組の説明を受けたあと、議事は原案どおり承認され無事終えました。その後の懇親会では、世代を越え母校での想い出などに花を咲かせ、駒場寮歌で締めくくるまで大いに盛り上がりました。

富山県支部



日 時 平成30年3月10日(土)
 開催場所 五万石 本店
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 17名
 実施事項 総会及び親睦会
 幹事・報告者 飯野 師(地生H18)

<幹事のコメント>

総会では、平成29年度収支決算報告承認が議決された他、鈴木理事から同窓会の法人化についてご説明いただきました。難しい内容と身構えていたのですが、軽妙なご説明に笑いを交えながら、詳細に教えていただき、楽しく聞き入ることができました。同窓会が変革の時期にあることを感じました。懇親会でも、互いの近況を含めた多種多様な話題で大変盛り上がった懇談となりました。特に今年は、若い世代の参加が急増し、老若男女が互いに刺激を与え合うといった化学反応のような空気も流れ、今後の富山県支部の活動に期待が膨らみました。これからも幅広い世代から参加していただけるよう工夫してまいります。

石川県 支部



日 時 平成30年3月9日(金)
 開催場所 金沢セントラルビル
 参加人数 9名
 実施事項 総会及び懇親会
 幹事・報告者 西山 宏(林H6)

<幹事のコメント>

金沢駅近くの会場で、総会及び懇親会を開催しました。
 当日は、昭和46年から平成19年卒までの9名の参加者が、大学の様子の紹介やそれぞれの近況の報告、今後の活動内容について意見を交わし、懇親を深めました。
 今後はフェイスブック等も活用して幅広く同窓生に呼びかけ、親睦の和を広げていくことを皆で誓い閉会となりました。

山梨県 支部



日 時 平成29年12月17日(日)
 開催場所 ホテル談露館
 派遣理事名 戸田 浩人 常務理事
 参加人数 32名
 実施事項 事業報告、会計報告、役員改選、懇親会
 幹事・報告者 菊島 孝(環保S63)

<幹事のコメント>

総会は、支部物故者への黙祷から始まり、今期の事業報告と会計報告が行われ、新役員として、篠原隆美支部長(養蚕S44)ほかの皆さんが選出されるとともに、地元新聞に掲載された農工大や卒業生の話題が紹介されました。
 また、大学本部から岡山隆之副学長と吉武宏見総務部総務課広報・基金室長、同窓会本部から戸田浩人教授の3名にご臨席を賜り、岡山先生から東京農工大学の近況について、戸田先生から大学の法人化移行及び取り組まれておられる研究内容について、それぞれご講演をいただきました。
 懇親会では、お一人ずつから近況報告が行われつつ、そこかしこで懐かしい話が交わされるなど、終始和やかな雰囲気で行われました。
 大学歌斉唱、記念撮影、万歳三唱を行い、次回の再会を約束しながら、散会となりました。

長野県 支部



日 時 平成29年11月25日(土)
 開催場所 ホテル信濃路(長野県長野市)
 派遣理事名 池谷 紀夫 事務局長
 参加人数 36名
 実施事項 ・平成27・28年度収支決算報告及び監査報告
 ・平成29年度予算案の承認
 ・役員改選
 ・同窓会法人化について
 ・支部会員による講演会
 ・懇親会
 幹事・報告者 小松 栄介(環・資H8卒)

<幹事のコメント>

信濃同窓会(長野県支部)は、平成29年11月25日(土)長野市内のホテル信濃路で29年度定期総会及び講演会を開催しました。
 同窓会本部からご出席頂いた、池谷紀夫事務局長からは、同窓会法人化についての説明を頂戴することもできました。
 総会終了後に開いた支部会員による講演会では、諏訪市在住の鮎澤光昭氏(養蚕S42)から、「いま思うこと」と題して、また、塩尻市在住の瀧澤宏氏(生機S56)から「セイコーエプソン(株)、エプソンサービス(株)について」と題して、それぞれのお立場で活躍されている方々の貴重なお話を頂戴いたしました。
 その後、恒例の懇親会が盛大に開催され、皆すっかり大学時代に戻って昔話を花を咲かせていました。最後は、校歌を全員で熱唱し締めくり、2年後の再会を誓い合ったのでした。

三重県 支部



日 時 平成29年9月10日(日)
 開催場所 新玉亭
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 17名
 実施事項 支部役員改選、会計報告、農工通信執筆者選定
 同窓会本部の法人化についての説明
 幹事・報告者 西野 実(生産H7)

<幹事のコメント>

本年も、「新玉亭」にて三重県支部の総会と懇親会を開催しました。参加人数は17名と例年より多く、特に若い方々にも参加していただきました。
 鈴木先生からは、同窓会の法人化についてご説明いただきました。懇親会も盛況のうちに終わることができました。

大阪府 支部



日 時 平成30年3月4日(日)
 開催場所 ガーデンシティクラブ大阪
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 39名
 実施事項 2016年度、2017年度会計報告、来賓挨拶(大野学長)、同窓会法人化・定款の問題についてのご説明(鈴木創三常務理事)、懇親会
 幹事・報告者 中野 淳(機械S60)

<幹事のコメント>

総会開催の冒頭で、遺族会代表の田原義則様(生機S63)よりのご提案で2015年のスキーバス事故にて犠牲に為られた東京農工大生に対して黙祷を捧げました。
 大野学長より、農工大の現状についてのご説明を頂き、グローバル化や国内大学でのランキングにおいて如何に本学が頑張っているかが分かりました。また、鈴木創三常務理事より同窓会法人化、定款の問題に関して大変わかり易いご説明を頂き、出席者はさらに理解が深まったと思います。
 懇親会では、大野学長より頂きましたお酒に舌鼓を打ち、自己紹介の時に、各人が多方面でご活躍されている近況等をご披露頂き、一同大いに盛り上がり盛況の内にお開きを迎え、最後に副支部長の挨拶で次回の再会を約束しました。

京都府支部



日 時 平成29年9月9日(土)
 開催場所 花傳
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 16名
 実施事項 京都支部総会・交流会
 幹事・報告者 平野 孝志(農工S53)

<幹事のコメント>

支部活動を再開して8回目となる今年には本部から鈴木創三常務理事をお迎えして行われました。総会後の交流会は、鈴木常務理事から乾杯の発声をいただき、華やかな雰囲気の中ではじまりました。今年には3名の会員が初参加でしたが、常連の参加者とすぐに打ち解け、府中・小金井の両キャンパスの変貌ぶりと大学の輝かしい躍進を肴に、懐かしく楽しい同窓会となりました。余興では花街・宮川町の芸妓さん舞妓さんによる「はぎさききょう」「宇治茶」の舞を鑑賞し、京の伝統文化を堪能しました。

滋賀県支部



日 時 平成29年11月25日(土)
 開催場所 ホテル ポストンプラザ草津 びわ湖
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 19名
 実施事項 総会・懇親会
 幹事・報告者 鈴木 一成(地生H25)

<幹事のコメント>

2年ぶりに開催した支部総会には、常務理事の亀山秀雄先生をゲストに迎え、初参加4名の方を含む18名の支部会員にご参加いただきました。総会後半では、亀山先生にご講演いただき、農工大の近況に加え、農工連携の取り組みについて、エネルギーの地産地消やオゾン水の農分野への活用等の事例を交えてお話しいただきました。参加者の農工出身割合がほぼ半々だったこともあり、みなさん熱心に耳を傾け、今後の連携の展開について、各々の立場から活発な議論が交わされました。総会後の懇親会は、懐かしい話題から最近の話題までとにかく話が尽きず、最後には学歌と寮歌を皆で合唱して大変盛り上がりしました。次回総会への新たな参加もぜひお待ちしております。

兵庫県支部



日 時 平成29年7月1日(土)
 開催場所 三宮ターミナルホテル
 派遣理事名 近江 正陽 常務理事
 参加人数 18名
 実施事項 1・総会
 ・支部長挨拶・派遣理事による農工大近況報告・会計報告
 ・平成29年度兵庫県支部運営体制報告
 2. 懇親会
 幹事・報告者 安徳 剛志(林S59)

<幹事のコメント>

総会では、派遣理事の農工大近況報告に出席の方々は熱心に聞き入っていらっしゃいました。出席者は、最年長者が昭和30年卒業、最年少は平成11年卒業と幅広い年齢層で、懇親会も和やかに執り行われました。

岡山県支部



日 時 平成29年8月5日(土)
 開催場所 ピュアリティまきび(岡山市北区下石井)
 派遣理事名 西澤 宇一 常務理事
 参加人数 14名
 実施事項 総会議事、講演会等
 幹事・報告者 谷 智仁(林S61)

<幹事のコメント>

最初に講演会として岡山県職員の方から「マツタケ研究の現状と新規培養方法の開発」というテーマで、マツタケの人工栽培に向けた取組についてお話を頂き、次に西澤宇一先生から母校の近況等のご説明を受けました。その後、総会議事を経て、懇親会では参加者相互の近況交換等行い、楽しい一時を過ごすことができました。岡山県支部の皆様、平成30年度総会は8月25日(土)で計画を進めており、決まり次第ご案内させていただきますので、ご参加を心からお待ちしております。

広島県支部



日 時 平成30年2月17日(土)
 開催場所 メルパルク広島
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 25名
 実施事項 支部総会(活動報告・会計報告)
 懇親会(自己紹介・理事講演・歓談)
 幹事・報告者 石田 一之(機械S59)

<幹事のコメント>

今年には案内状を年賀状と兼ねて送付し、メール案内、Facebook掲載等と併せて若手の参加者獲得を図りました。結果、25名の参加者にお集まり頂き、盛大に支部総会が開催できて、皆様に感謝しています。総会では、三宅支部長から同窓会法人化の説明をして頂きました。懇親会では、最初に全員で挨拶と握手を行いました。次に、鈴木先生から「土」という興味深いお話を吉本興業顔負けの愉快な名調子で講演して頂き、出席者全員が抱腹絶倒させて頂きました。最後は、「広島県支部の発展と出席者の健康を祈念して」一本締めを行い、楽しい会を終了しました。

山口県支部



日 時 平成29年7月30日(日)
 開催場所 紫水園(周南市)
 派遣理事名 鈴木 創三 常務理事
 参加人数 11名
 実施事項 派遣理事によるミニ講演会、支部総会、懇親会
 幹事・報告者 岡本 賢一(植防H4)

<幹事のコメント>

鈴木先生から、同窓会の一般社団法人化についての経緯やメリット・デメリットを、続いて先生の専門分野である土の基礎知識やカリウムの遊離、セシウムの可給態化のしくみについて終始笑いをとりながらわかりやすく説明していただきました。総会では役員の変更が行われました。懇親会では昔話に花が咲き、「色の黒い奴」「お馬の歌」を熱唱するなど、大いに盛り上がりました。老若男女を問わず楽しめるのが当支部です。山口県出身者・在住者の積極的な参加をお待ちしています。(追記)平成29年6月16日、支部長を務めていました赤木道博さん(獣医S49)が急逝されました。謹んでご冥福をお祈りします。

鳥取県
支部

日 時 平成29年11月26日(日)
 開催場所 ホテルセントパレス倉吉
 派遣理事名 池谷 紀夫 事務局長
 参加人数 9名
 実施事項 ・平成28年度 事業報告、会計報告について
 ・鳥取県支部同窓会会則(案)について
 ・平成29年度 事業計画(案)について
 ・報告:東京農工大学同窓会の現状と今後について
 幹事・報告者 門脇 互(製糸S54)

<幹事のコメント>

総会では池谷紀夫事務局長から「東京農工大学同窓会および大学の現状と今後について」と題して、大学の様子、同窓会の法人化についてご説明をいただきました。

引き続き懇親会では、出席者からの学生当時の話や近況報告など、少人数ながら大変盛況な同窓会となりました。

これからも鳥取県在住の会員確認を行うとともに、若い世代の出席も促しつつ、より多くの会員が出席いただけるよう充実した楽しい支部にしたいと考えています。

島根県
支部

日 時 平成29年12月9日(土)
 開催場所 サンラポーむらこも
 参加人数 10名
 実施事項 平成29年度総会 支部規約改正
 役員選任
 幹事・報告者 松浦 史瑞(林産H元)

<幹事のコメント>

議事に入る前、永年にわたり支部を率えていただいた中尾清治氏(農工S34)、原康二氏(農S35)が逝去されたことから、そのご功績に感謝するとともに、ご冥福をお祈りし開会いたしました。

総会後の懇親会では、新規会員の参加もあり、情報交換等おおいに盛り上がりました。

島根県は、東西に長いなど地理上の問題もありますが、多くの会員の皆様に参加していただけるような会にしたいと考えています。

香川県
支部

日 時 平成29年10月21日(土)
 開催場所 リーガホテルゼスト高松
 参加人数 7名(派遣予定理事:亀山 秀雄 常務理事)
 実施事項 支部総会
 同窓会本部の法人化についての説明
 母校の現況について
 幹事・報告者 岡崎 進(獣医S38)

<幹事のコメント>

生憎の台風21号の接近により、東京からお越しいただく亀山先生の帰りの交通手段が確保できない可能性が高く、先生には飛行機搭乗直前にストップしていただきました。総会は残念ながら私達だけで開催することになりました。

今年はいつも準備をしてくれている河野さんが参加できず、また参加者も昨年の半分以下になり、少し寂しい会になりました。

本部から送っていただいた資料に基づき、最初に同窓会法人化についての私が知る範囲で同窓会の法人化の変更点・目的・総会・役員等説明をしました。

また母校の現況について資料を見ながら世界ランキング397位など頑張っている様子に感嘆し、最後においでいただく予定でお送りいただいた亀山先生の「水素エネルギーの最新動向」について「誰か解説してよ」とお願いしましたが難しく、やはり又の機会に亀山先生にお越しただいてお話ししていただくのが一番との結論になりました。

徳島県
支部

日 時 平成29年10月28日(土)
 開催場所 中国料理「桃李」
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事
 参加人数 5名
 実施事項 収支報告 近況報告 懇親会
 幹事・報告者 小杉 純一郎(林S63)

<幹事のコメント>

今年は、本部から工学部の野口恵一先生に来ていただき、最近の大学の様子などを教えていただきました。

今年も徳島在住の5人の方々に参加いただき、楽しい集まりとなりました。

高知県
支部

日 時 平成30年1月21日(日)
 開催場所 高知共済会館
 派遣理事名 野村 義宏 常務理事
 参加人数 4名
 実施事項 ・支部総会(前回開催時(平成26年度)の活動報告、決算報告)
 ・大学の近況報告(野村先生)
 ・東京農工大学同窓会の法人化について(野村先生)
 ・講演会「睡眠の話」(高知大学医学部看護学科 吉村澄佳 先生)
 幹事・報告者 豊田 陽一(蚕糸S57)

<幹事のコメント>

開催時期も悪かったのか、事前の会員参加者は6名にとどまっていたところ、さらにインフルエンザで2名欠席し参加者は4名のみとなり、本部から来ていただいた野村先生や、講演を依頼した吉村先生には大変申し訳ありませんでした。しかし、昭和20年卒の花田大先輩が来てくださり、今はなかなか聞けない戦前の農工大の事や終戦時のアメリカ兵との話など、貴重なお話を聞かせていただきました。参加者一同、花田大先輩がお元気でしっかり話されることや、その話の内容に感心することしきりでした。

また、参加者が少なかつたにもかかわらず熱心に講演していただいた「睡眠の話」は、日常で関心のあることだけに、質問も多く出て、参加会員が4名だけとは思われないほど盛り上がりしました。

長崎県支部



東京農工大同窓会長崎県支部

日時 平成29年7月29日(土)
 開催場所 ホテル セントヒル長崎
 派遣理事名 淵野 雄二郎 監事
 参加人数 11名
 実施事項 ①支部総会 ②研修会 ③交流会(懇親)
 幹事・報告者 古賀 淳士(農S52)

<幹事のコメント>

当支部では平成27年度から2年間を活動単位に定め、本部総会終了後に総会を開催することとし、今回2年ぶりに総会を開催しました。

総会では前期の活動と決算報告・今期活動と予算案・新支部長内山満(林S49)と役員案を承認。

研修会では同窓会本部の淵野監事から「母校の近況等」と題して、同窓会法人化への動きや能條新会長の就任等をお話し頂きました。

交流会では、淵野監事と過ごした駒場寮・能條会長とグリーンクラブの思い出等が参加者から披露され楽しく盛り上がりしました。

熊本県支部



日時 平成29年6月17日(土)
 開催場所 熊本ホテルキャッスル
 派遣理事名 野口 恵一 常務理事
 参加人数 27名
 実施事項 平成28年度熊本県支部会計報告
 同窓会本部の一般社団法人化について
 熊本県支部会員の動きについて
 幹事・報告者 小野 亮太郎(農S63)

<幹事のコメント>

野口先生より、現在の農工大学の組織概要や同窓会本部の一般社団法人化等について話題提供され農工大の近況を詳しく紹介していただきました。会員皆懐かしい大学の話題に加えて、新しい情報に触れることができました。

出席者27名と多数の会員が出席され、盛況な総会、懇親会となりました。特に本年は支部会員の掘り起こしとして支部未加入の会員宛に総会案内のハガキを送付し、新たに3名の会員が入会されました。入会した新規の会員からは、参加できてよかったとの意見が聞かれました。また、出席された会員からは古い話や新しい話が様々に飛び出し、年配の方から若手の方まで、同じ学び舎での一体感から親近感あふれる会話が盛り上がりしていました。

来年もまた多くの県支部会員が元気に出席いただけることを祈念しています。

宮崎県支部



日時 平成29年11月25日(土)
 開催場所 ホテルメリージュ『翡翠の間』
 派遣理事名 富永 洋一 常務理事
 参加人数 18名
 実施事項 同窓会法人移行について
 平成28年度実績及び会計報告について
 平成29年度計画及び収支予算案について
 幹事・報告者 井之上 英行(農工H4)

<幹事のコメント>

総会では、「同窓会法人移行に係る案(支部長委任等)」「平成28年度実績及び会計報告案」「平成29年度計画及び収支予算案」が承認されました。

また、工学部の富永先生にお越しいただいて同窓会や大学の近況等について貴重なお話をさせていただきました。会員は大変興味深くお話を聴かせていただきました。その後は、会員近況報告等で大変盛り上がり同窓会となりました。

鹿児島県支部



日時 平成29年11月18日(土)
 開催場所 寿庵
 派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
 参加人数 14名
 実施事項 ①協議
 平成28年度事業実績及び収支決算について
 平成29年度事業計画及び収支予算について
 その他
 ②交流会
 幹事・報告者 平 繁人(養蚕S45)

<幹事のコメント>

今年は常連会員が都合悪く欠席が多い中、初めての参加会員が13名中5名(うち女子2名)もあり、平均年齢もぐーんと若返り、例年のない盛り上がり同窓会となりました。

総会の中で、亀山常務理事より母校の近況や法人化について紹介してもらいましたが、ご専門の再生可能エネルギーと農商工連携については時間が足りず申し訳ないことでした。しかし、法人化については質疑もあり理解を深めることができました。その後の議事では、支部活動の活性化策を継続審議することとなりました。

交流会では、先輩後輩が入り乱れて熱く語り、次年度の再会と参加者倍増を誓って散会となりました。

横浜会



日時 平成29年6月10日(土)
 開催場所 華正樓本店
 参加人数 8名
 実施事項 平成29年度横浜会総会
 幹事・報告者 松島 稔(製糸S37)

<幹事のコメント>

会長挨拶と新入会員紹介の後①平成28年度収支決算報告②平成28年度監査報告③本部総会の報告が行われた。総会の後、懇親会に入り長年ラオスにおける養蚕、製糸の技術指導の経験を持つ長老会員よりラオスの蚕糸業の現況につき説明もあり有意義な交流の場を持つことが出来た。

同好部会だより

農工音楽祭

日 時 平成29年5月27日(土)
 開催場所 農工大農学部講堂
 参加人数 約50名
 実施事項 第6回農工音楽祭
 幹事・報告者 佐藤 俊幸(農学研究院准教授)

<幹事のコメント>

音楽を通じた交流を目的に、教職員・学生・OBOG他で開催した。一般の方も来聴された。

出演は演奏順に、①竹桐会(邦楽サークル)、②Nob & Mary(ア
 イリッシュバンド;本学OBと友人)、③フードファイターズ(歌
 研究会)、④BLACK NUMBER(本学教員と友人、歌研究会)、
 ⑤ Special Blue(ブルース;本学教員と学生など)、⑥はいもう
 ず(ロック;本学OB・OG)、⑦Deviban!(プリティッシュロッ
 ク;本学教員と歌研・ジャズ研・管弦の学生)、⑧SKDシスター
 ズ(昭和歌謡;本学教職員と友人)、⑨ありんこの家(フュージ
 ョン・ラテン;本学教員と友人)であった。

「農工大支援ネットワーク(AT-Netz)」



企業見学会
 一先輩社員との懇談会
 (グループ別に交代で懇談)

- 実施事項
- AT-Netz活動検討会(新宿)
 平成29年6月10日(土) 参加人数18名
 ・同窓会総会報告・前年度の活動と検討・新年
 年度の活動計画等
 - 学生の教育等支援活動(企業見学会の開催)
 - 日本電子㈱(昭島)平成29年8月30日(水)
 参加人数 14名
 会社説明、工場・研究所見学、農工大先輩社
 員との懇談会
 - ㈱ロETTE(浦和)平成30年2月15日(木)
 参加人数 33名
 工場見学、商品開発取り組み説明、農工大
 先輩社員との懇談会
 - その他「農工通信」(94号)の編集支援(年間
 一メンバーとして。

幹事・報告者 深水 智明(織工S38)

<幹事のコメント>

企業見学時の学生の関心/感想文より

- 【日本電子㈱】・新しい機器分析装置と技術開発姿勢への関心・働
 く環境、特に現場の技術者の働く姿に感動・企業で
 仕事は大学の研究の延長でなく、質の相違等
 【㈱ロETTE】・働く環境、特に女性の活路に関心・AI化等自動化
 による機械化と人との関わりに関心・菓子メーカーでの
 種々の技術分野の役割に関心・菓子の商品開発企画、
 販売コンセプトへの強い関心・女性の働き易さへの関
 心・菓子メーカーでの研究職の働くイメージ等

イノベーション研究会



日 時 平成29年6月24日(土)
 開催場所 東京農工大学工学部内 科学博物館
 参加人数 57名
 実施事項 第一回イノベーション研究会「世界遺産、富岡製
 糸場の製糸技術を見よう」博物館見学、懇親会
 幹事・報告者 石井 真樹子(地生H17)

<幹事のコメント>

繊維技術研究会の川名先生からは「富岡製糸場の高度な製糸技術」、
 壁矢先生からは「紡績技術の変遷にもなう製品事例紹介」というテー
 マについて、動画や写真、実際の製品サンプルを用いて丁寧に講演
 いただきました。講演後は博物館見学が行われ、学生ガイドの方々
 が難しい紡績技術の歴史をわかりやすく説明くださいました。

当日は57名の方にご来場いただき、皆さん熱心に先生方のご講演や
 見学時の説明に耳を傾けられていました。見学後の懇親会では当研究
 会会員とご来場いただいた皆さんとで交流を深めました。

ご来場いただきました皆さま、ならびに講演会、博物館見学、懇親
 会の準備にご協力いただいた関係者の皆さまに、心よりお礼を申し上
 げます。

東京農工大学技術士会



日 時 (1)平成29年12月2日(土)
 (2)平成30年2月16日(金)
 開催場所 (1)武蔵野荘ラウンジ
 (2)農学部第一講義棟
 参加人数 (1)17名
 (2)3名
 実施事項 (1)定期総会ならびに技術経歴発表会:講演①「環
 境測定における技術士の役割と課題」(出口智実
 /杉江昌)、講演②「独立自営までの経歴と今後」
 (鶴巻広一)、講演③「化学プラントにおける現
 状と課題」(吉原伊知郎)
 (2)東京農工大学公務員セミナー参加(展示・説明)
 幹事・報告者 東田 英毅(工博H19)

<幹事のコメント>

2016年12月に設立された当会は、多士多才な会員を擁しています。
 そうした互いの技術的バックグラウンドを把握すべく、本年度より定
 時総会に合わせて技術経歴発表会を開催しています。技術士視点や
 踏まえ、独立の苦労や顧客とのやり取りでの悩み、あるいはわかりや
 すい技術解説といった、笑いあり驚きありの和気あいあいとした時間
 が共有されました。また公務員志望者対象の就職セミナーにも参加
 し、学生諸君に技術士制度を紹介する機会としました。

地域再生・地域活性化に東京農工大学の知的資源を 活かすネットワーク(略称:Nets 風の記録)



日 時 平成30年3月31日(土)
 開催場所 東京農工大学50周年記念ホール
 参加人数 17名
 実施事項 優れた地域再生・地域活性化活動の取り組み・実
 績紹介と経験交流
 (1)国交省「都市景観大賞優秀賞」授賞
 任海 正衛(電気S44)
 (2)中央畜産会「優良畜産経営表彰事業」最優秀賞・農水大臣賞受賞
 峯村 富治(農S48)
 (3)外国人技能実習機構から「受入優良団体」として認定される。
 藤田 正三(林産S51)
 幹事・報告者 淵野 雄二郎(農S43)

<幹事のコメント>

H27~29年度に優れた地域活動や地域農業振興に貢献され表彰さ
 れた会員に活動の評価ポイントを報告いただき、冊子体などで本会
 の記録にとどめることにした。(1)任海氏が代表を務める「四街道市、
 栗山みどりの保全事業実行委員会」の里山や屋と谷地田の保全活動
 が高く評価された。(2)峯村氏が経営する「牧舎みねむら」が繁殖
 牛80頭を飼育し、素牛を導入することなく一貫経営を展開し、市場
 に左右されずに飼育している点などが評価された。(3)藤田氏が専
 務をつとめる「茨城中央園芸農協」が実習生の技能取得支援、実習
 終了後の母国での就農支援ネットワークづくりや、人権保護等の取
 り組みが評価され、優良団体として認可を受けている。

クラス会だより

林学科S45入学同期会

林S49、50



開催日 平成29年2月4日(土)
 開催場所 ホテルコンチネンタル府中
 参加人数 16名
 実施事項 黙祷・親睦・近況報告
 幹事・報告者 難波 伸幸(林S49)

<幹事のコメント>

卒業以来40数年ぶり、メンバーのほとんどが65歳を越えたのを機会に初めてのクラス会を開催しました。各人いぶし銀の貫禄の中に学生時代の面影を宿す懐かしい再会となりました。

故人(2名)となった友への黙祷後、挨拶・乾杯の発声でスタート、逐次出席者全員の近況報告、中には学生時代の共通の話題になると話が横道に外れ持ち時間オーバーの熱弁で大変盛り上がりしました。総じて皆さん高齢者の仲間入りをしたのにもかかわらず益々意気軒昂で頑張っている姿が多く楽しい時間を過ごすことができました。

S46林学科宿泊クラス会

林S46他



日時 平成29年5月15日(月)～16日(火)
 開催場所 福島県会津若松市
 参加人数 13名
 実施事項 宿泊クラス会
 幹事・報告者 横堀 誠(林S46)

<幹事のコメント>

郡山市在住の渡部さんの尽力で、会津若松市で宿泊クラス会を楽しく行いました。大内宿での集合写真は前列左から福士、渡部、蓮尾、大島、稗田、後列左から和田、横堀、半田、井上、高橋、佐野、大野で、鈴木さんがあいにく居なくてすみません。見学場所は、野口英世記念館、飯盛山とさざえ堂、鶴ヶ城、下郷町の大内宿で、貴重な歴史情報を知り、たいへん充実した2日間でした。

工学部繊維工学科S45年卒業クラス会

織工S45



日時 平成29年5月22日(月)
 開催場所 銀座Sun-mi高松本店
 参加人数 16名(後列左から木村、加藤、松永、水落、川合、長谷川、山口、西川、近内、田中、大沢、太田
 前列左から笹沼、田村、山元、関根、集合写真より)
 実施事項 近況報告・情報交換・懇親会
 幹事・報告者 笹沼 芳美、関根 恒也、長谷川 博

<幹事のコメント>

前回開催時の提案を加味して、皆が集まり帰宅しやすい時間帯として12時スタートの開催で3時間じっくり語り飲めるプログラムに変更。さすが改革改善のプロ集団です。黄泉の国へ先立たれたクラスメイトのご冥福を祈り黙祷、乾杯の音頭でスタートしました。恒例に従い各自の近況報告、質疑応答や山元氏の笛演奏。木村氏の唄の余興もありで豊富なメニューで盛り上がり楽しい一時を過ごすことが出来ました。皆さん相変わらずエネルギーで学生時代に戻ったような感じで忌憚なく過ごせたのではないのでしょうか。今回は川合、木村、近内の3氏が幹事で開催して頂く予定です。

林務関係同窓会

林、環境、環資、地生

開催日 平成29年6月3日(土)
 開催場所 「函館海や川越店」
 参加人数 10名
 実施事項 近況確認、親睦
 幹事・報告者 石塚 丈士(環資H23)

<幹事のコメント>

埼玉県内の林務関係者の同窓会です。昨年に続いての開催となりました。最年長者は林学科を昭和54年に卒業した同窓生から平成25年に大学院を修了した同窓生まで幅広い年齢層でした。

電気科S47年入学 第5回クラス会

電気S47入学



開催日 平成29年6月10日(土)
 参加人数 18名
 実施事項 府中キャンパス散策・懇親会
 幹事・報告者 堀内 清司(電気S51)、西野 隆司(電気S51)

<幹事のコメント>

卒業2年後の1978年に第1回を開いたものの、その後、クラス会は途絶え、2014年に再開しました。昨年は小金井キャンパスを、今年は府中キャンパスを散策しました。府中キャンパスは1年間だけの通学でしたが、散策中は「講堂ってこんなに狭かったのか?」「一般教養の講義は、あの建物だったよな」「獣医学科は、偏差値が高い学生ばかりだった」といった話題で盛り上がりました。キャンパス東奥に農場がありますが、そこまで来たのはほぼ全員が初めてだったようです。

ご連絡ですが、ホームページを立ち上げました。

<http://tat47ers.oldage.jp/>

S47年入学なら、工学部他学科の方も近況を投稿できます。上記ホームページより、ご連絡ください。

西ヶ原寮41会

西ヶ原寮同窓会



日 時 平成29年6月29日(木)

開催場所 紀州鉄道「熱海ホテル」

参加人数 10名

実施事項 懇親

幹事・報告者 若尾 俊雄(製糸S41)、小山 邦彦(電気S41)

<幹事のコメント>

平成29年4月、同窓会のホームページに東京農工大学伝統歌が設けられました。その中には校歌と農学部駒場小唄など10曲で工学部の西ヶ原寮歌ありませんでした。工学部唯一の伝統歌「西ヶ原寮歌」を西ヶ原寮にゆかりのない後輩の皆さん方にも記憶に残してもらうために、このメンバーで蜜声を張り上げて録音し、伝統歌に加えて頂きました。録音時の様子はホームページに記載のURLからご覧ください。

硬式野球部後援会 平成29年度OB戦

日 時 平成29年8月5日(土)

開催場所 東京農工大学工学部グラウンド

参加人数 卒業生30名、現役生20名

実施事項 昼:現役VS OBの野球の試合、夜:懇親会

幹事・報告者 山口 陽三(電情H9)

<幹事のコメント>

蒸し暑さと陽の暑さをあわせて感じる、とある夏の日。硬式野球部のOBが今年も小金井グラウンドに集まりました。現役VS OBの一戦は、春のシーズンで4部優勝を飾って3部昇格を果たした現役がその勢いそのままに猛攻。17-1の大差となりました。

昼の試合前には間もなく80歳を迎える最年長・伊藤佳一先輩(織工S36)が今回の参加で区切りをつけると表明。年齢を感じさせない若々しさを保ち、この日も1回裏に現役の強力打線を0点に抑える好投を見せただけに惜しまれつつの引退となりました。

OBのみなさん、来年もご参加、お願いします。

http://www.yozonet.com/noko_baseball_ob/

農業生産工学科S40クラス会

農工S40



日 時 平成29年10月2日(月)

開催場所 熱海温泉 大月ホテル「和風館」

参加人数 11名

実施事項 祝 後期高齢者の仲間入り

幹事・報告者 平林 弘義(農工S40)

<幹事のコメント>

秋の気配を感じる10月初旬、初めて一泊のクラス会を、熱海温泉にて行いました。今年で皆、元気に後期高齢者の仲間入りし、節目の記念すべきクラス会となりました。

残念ながら連絡可能者23名中、出席者11名と半数の参加となりましたが、ひと風呂後の宴会は、各々の近況、連れ合いとの事などで盛り上がり、少人数ながら密度のある内容となりました。

2次会は、農工大ブランド「賞典禄」を味わいながら、学生時代の秘話、衆議院議員選挙、北朝鮮問題などトークバトルが夜遅くまで繰り広げられました。

翌朝食後、次回のクラス会を確認し、元気に再会を約し散会しました。

機械工学科三期生(S40年卒)同期会

機械S40



日 時 平成29年10月19日(木)

開催場所 銀座「吉乃翔」

参加人数 22名

実施事項 懇親、近況報告、情報交換他

幹事・報告者 松本 喜晴(機械S40)

<幹事のコメント>

平成18年から幹事役が7つの研究室持ち回り制となったので毎年開催が続いており今年が12年目で一回り半を過ぎました。

今回は澤田孚夫教授より「ニュートン力学から変形する物体のシミュレーションへ」と題する高尚な講話をして頂きました。

引き続き男性の平均寿命が80歳を超えた昨今、ほぼ全員が後期高齢者入りとなっており、話題は平均余命12年を如何に全うするかで盛り上がりました。

そして、現在難病で闘病中の級友にエールを送りつつ散会になりました。

半世紀ぶりの農業問題研究会

農業問題研究会



開催日 平成29年10月21日(土)
 開催場所 川越湯遊ランド
 参加人数 15名
 実施事項 交流報告会 懇親会
 幹事・報告者 板垣 勝弘(農S44) 菊池 秀興(農S44)
 横林 和徳(農S43)

<幹事のコメント>

1964年は北海道の冷害。この年、冷害対策実行委を組織して、農学部近所での衣類集めや府中・調布駅頭でのカンパ活動。それを契機に、農業問題研究会を発足させた。65年は北海道広尾町、66年長野県の佐久、67年栄村に調査や「援農」に出かけた。その時農家に分宿し寝食を共に、現地の公民館や駒場寮で農家の現状や自分たちの生き方も含め語り合った仲間達。卒後蓄積した研究や活動のレポートを持参して当時の思いを胸に農業・教育問題共有の道を語り合った。

植防S41.42同期会

植防S41、S42



開催日 平成29年10月22日(日)
 開催場所 宮城県松島町パレス松州
 参加人数 15名(7名(S41)、8名(S42))
 幹事・報告者 森川 靖・上原 武志(植防S42)

<幹事のコメント>

植防同期会は平成21年からほぼ毎年実施。平成29年は宮城県での開催となったが、あいにく台風21号と重なり参加者は総勢15名でした。それでも先輩、後輩交えての情報交換宴会となり、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。翌日は、台風の為、午前中仙台駅発の新幹線以外は不通との事で仙台駅までホテルのバスがピストン輸送。台風の中でのクラス会という珍しい体験をしましたが、植防同期会の結束は固く、来年の再会を誓い仙台駅にて解散致しました。

別府鶴見丘高校3年B組S35卒

機械S39/農学・織工S40/電気S41



開催日 平成29年10月26日(木)~27日(金)
 開催場所 工学部・農学部・うかい鳥山(高尾)
 参加人数 4名
 実施事項 懇親
 幹事・報告者 立川 道雄(電気S41)

<幹事のコメント>

3年B組から4人農工大に進学しました。地元の九大等には複数人進学することはよくありますが、東京へ出て同じ大学に進学する珍しいケースです。入学年度・学部・学科はそれぞれ異なります。福原研二 機械S39(千葉)、門脇稔 織工S40(滋賀)、小池一正 農学S40(福島)、立川道雄 電気S41(大分)、当時西ヶ原寮に3人住んでいました。今回、4人でミニ3年B組クラス会を開きました。工学部に集合、予めお願いしていた富永洋一先生の研究室を見学、構内を案内して頂きました。その後農学部へ移動して見学、八王子で宿泊。翌日は高尾山へ、昼食はうかい鳥山、多分最初で最後のクラス会、話しが弾み、良い思い出が出来ました。来年は喜寿、皆で地元の同窓会に参加しようと約束して、別れました。

S37義寮11号室会



日時 平成29年10月27日(金)~28日(土)
 開催場所 リゾートマンション越後湯沢プラージュ
 参加人数 4名
 実施事項 懇親・親睦
 幹事・報告者 立川 道雄(S41電気)

<幹事のコメント>

第3回目の同窓会は越後湯沢で開かれました。東京駅で3人待ち合わせ、新幹線で越後湯沢へ向かう予定でしたが、時間になっても一人現れませんでした。車中から連絡したところ1日、取り違えていました。幸い名古屋からでしたので4時間遅れて合流出来ました。ペナルティで次回幹事に決まりました。翌日、一人は所用で東京へ、後の3人で苗場に紅葉狩りへ行きました。幹事は例年より綺麗でないと話していましたが、十分見られました。写真左から辻田義治(工化)・瀧上紀吉(機械)・田中恒雄(工化)・立川道雄(電気)です。

織工38会クラス会

織工S38



開催日 平成29年11月1日(水)~2日(木)
 開催場所 京都・嵐山地区
 参加人数 11名
 実施事項 情報交換・観光・懇親
 幹事・報告者 大沼 紀幸(織工S38)

<幹事のコメント>

東京地区メンバーからの強い要望で京都での開催となった。紅葉の季節の嵐山地区で11月1、2日に実施したが、快晴に恵まれたことが何よりだった。宴会では旧交をあたためることができ、トロッコ列車や世界遺産の天龍寺・仁和寺・龍安寺での観光も堪能できた。サプライズで36ページからなるフォトブック(写真参照)を参加者全員に配布したところ、電話・メール・はがきで大反響があり、楽しいクラス会に花を添えることができた。

林産学科H4卒クラス会

林産H4



開催日 平成29年11月3日(金)
 開催場所 同窓会50周年記念ホール
 参加人数 30名
 幹事・報告者 二木 次郎(林産H4)

<幹事のコメント>

卒業後四半世紀経ったちょうど良い機会ということで、初めてのクラス同窓会を開催しました。同窓生の約7割が出席し、また、当時大変お世話になった各研究室の先生方(敬称略、加工研:喜多山・服部・安藤、材料研:伏谷、林化研:岡山、材改研:富永、木化研:川合)にもご出席いただき、大盛会となりました。特に、体調が万全でない中で来ていただいた伏谷先生のお姿に出席者一同感無量の思いでした。

25年という歳月もすぐに飛び越え、昔と同じように話ができる仲間のありがたさを改めて感じました。今後も今回再びできた繋がりを大切にしていきたいと思えます。

繊維工学科S46卒同期会

織高S46



開催日 平成29年11月4日(土)
 開催場所 工学部キャンパス 140周年記念会館(エリプス) 3F
 参加人数 16名
 実施事項 繊維工学科昭和46年卒同期会
 幹事・報告者 千田 武(織高S46)

<幹事のコメント>

今回の同期会は、前回が何時頃だったのか誰も思い出せないほど、本当に久しぶりの集まりでした。

当日は旧工学部本館の1階ロビーに集合し、在学中にお世話になった壁矢氏の案内で、館内展示の繊維機械等を見学した後、140周年記念会館(エリプス)で会食しながら旧交を温めました。

会食の楽しい時間は、話題満載の各自の近況報告や思い出話を交わす内に、あっという間に過ぎました。最後に、集合した一同の記念写真を撮影し、再会を約束して散会しました。

東京農工大学 農薬・櫛会



日時 平成29年11月18日(土)
 開催場所 東京農工大学50周年記念ホール
 参加人数 70名
 実施事項 親睦、近況報告、情報交換
 幹事・報告者 海野 大(農学院H16)、巴 なつみ(有材H16)、岡本 泰樹(植防院H21)、名倉 正彦(生シ院H9)

<幹事のコメント>

本会は農薬関連(官公庁・法人、研究教育機関、農業関連組織、企業等)の業務に就く卒業生や先生方の親睦を図る会です。現在では300名を超える卒業生が名を連ね、2年ぶりに開催されました。

大学の変貌には目を見張るものがあり夏目雅裕先生から頂いた大学の近況の説明も興味深いものでした。

歓談の後、農工大に関するクイズ大会では新旧の会員がチームを組んでの対戦。優勝チームには農工大ならではの賞品が贈られました。

農薬・櫛会は同じ業界で業務に励む卒業生が組織の垣根を超えて集える場です。今回残念ながら参加できなかった皆様も次回の参加をお待ち致します。

東京農工大学 学友会ヨット部 創部50周年 総会



開催日 平成29年11月26日(日)
 開催場所 銀座PPサロン
 来賓 第3代顧問 國眼 考雄 先生
 第5代顧問 鈴木 創三 先生
 農工大学職員 坂場 肇 様
 参加人数 44名(来賓3名、OB・OG36名、現役5名)
 幹事・報告者 伊藤 貞一(植防H5)

<幹事のコメント>

ヨット部は2012年に部員0、廃部の危機を迎えましたが、大学の理解と支援の下、OB・OG有志が集まり、新入生勧誘活動を行って現在は部員9名まで復活、創部50周年の総会を迎えるにいたりました。ヨット部の活動にご尽力を頂いた國眼先生、鈴木先生、坂場様にご列席頂けたのは有り難いものでした。宴席では創部時代の苦労話、悪天候下でのサバイバル談、全盛期の思い出、廃部危機から復活の歩み等の話で大変盛り上がりしました。最後に新しい部旗をOB会長より主将に手渡しし、盛会のうちに終了致しました。次回51周年総会は2018年11月18日を予定しております。

農学科昭和23年 最後のクラス会

農乙・農甲S23



日時 平成29年11月26日(日)
 開催場所 中野サンブラザ「なかの」
 参加人数 8名
 幹事・報告者 青木 茂(農乙S23)

<幹事のコメント>

私たちの学年は昭和20年の入学です。卒業時は甲乙クラス併せて129名という大人数であった。終戦後、陸軍士官学校・海軍兵学校を代表とする復員学徒を、当時の小出満二学長は「国のために尽くされた優秀な学生であるから希望者は全部編入する」との方針を取ったという終戦秘話もある。が、卒寿の今日、出席できたのは8名となってしまった。

年々出席者が減っていくのは仕方ないことだが、これでクラス会は終了としたい。おそらく平均90歳は同窓会の最年長記録ではないかと思う。

写真前列右から 松村 進・芦川 孝三郎・青木 茂・坂本 正己
 後列右から 中村 安彦・白井 千秋・中島 哲郎・吉川 正巳

「旅と鉄道研究会」臨時部会

旅と鉄道研究会 S55~



開催日 平成30年2月3日(土)
 開催場所 新橋「新時代」
 参加人数 5名
 実施事項 昭和50年代後半「旅と鉄道研究会」臨時部会(親睦会)
 幹事・報告者 別当 正浩(製糸S60)

＜幹事のコメント＞

不定期で親睦会を行うことから臨時部会と称して、昭和50年代後半に活動していた「旅と鉄道研究会」の親睦会を実施しました。数年振りの開催となりましたが、第5期小野瀬部長の号令の下、「旅と鉄道研究会」に相応しく新橋のSL広場に18時集合して、SLの汽笛を聞いた後、電車の通過音が響く新橋のガード下の居酒屋で交流を深めました。

今回は5両編成(5人)と短い編成ではありましたが、30年振りにグリーン車(女性部員)が連結され、最後まで華やかな部会となりました。なお、当時第6期(S58)で23名の部員が所属しており、彼女を含む2名の女性部員が入ってくれたのは、初めてでした。今回の臨時部会が楽しみです。

生命工H19卒同窓会

生命工H19(院H21)



開催日 平成30年2月11日(日)
 開催場所 新宿
 参加人数 21名
 実施事項 親睦、近況報告、クイズ大会等
 幹事・報告者 宇根内 史、熊谷 文範、森田 陽 ほか

＜幹事のコメント＞

学部卒業後11年間で初めての同窓会は、お子さん連れも含めて21名が参加し大いに盛り上がりました。

歓談で互いの近況を報告した後、今昔の東小金井に関するクイズなども実施し、当時からの変貌に驚きつつ往時の学生生活に思いを馳せました。

次の開催を約束してお開きとなりました。

二次会も大いに盛り上がりました。

それぞれの活躍を願っています。また集まりましょう。

フォークダンス部OB会

農工大学フォークダンス部



開催日 平成30年3月10日(土)
 開催場所 さかなや道場八重洲口店
 参加人数 11名
 幹事・報告者 北川 洋(生機S54)・古川 誠(環保S52)

＜幹事のコメント＞

今回はS55卒のフレッシュ(?)メンバーが2名加わり盛大となりました。2人は一目見てそれとわかるほど学生時と変わらず一同歓喜した次第でした。パートナー校白梅学園の女性と結婚された参加者も増え、話題の中心は麗しかった白梅方々の卒業後の動向に集まりました。

また、定年後の再就職にピリオドを打つ方々も増え年金や体調、趣味などが話題になる一方、登山、ジム、テニスそしてフォークダンス等に汗をかき健康維持に努めている方も多く、今更ながら学生時代にフォークダンスで鍛えた足腰が健康に寄与していることを実感しました。

今回は平成31年3月第2週の土曜日を予定しましたので、この投稿をご覧になった諸氏は是非ご参加ください。

工業化学科S43卒業50周年クラス会

化工S43



日時 平成30年3月16日(金)
 開催場所 50周年記念ホール
 参加人数 34名
 幹事・報告者 松岡 正邦(化工S43)

＜幹事のコメント＞

卒業式から50年後に当たる3月16日にクラス会を開きました。当日は早めに集合して、同窓会の池谷事務局長の案内で農学部キャンパスの散策を行いました。かつて一般教養を学んだ場所や農場などをゆっくりと歩きましたが、1年次の時以来53年ぶりに足を運んだという参加者も多く、楽しめたようです。3年半ほど前には入学50周年のクラス会を小金井キャンパスで開き、その時もキャンパス巡りをしました。両キャンパスとも、さすがに50年もたつと建物の多くが新しくなっていて話題には事欠きませんでした。卒業後初めての参加者もいて、あれは誰だ?とこっそり聞かれたりしました。次回(2年後を予定)は名札を用意しようと思います。

昭和43年入学農学科養蚕学科合同クラス会

農・養蚕S47、48



日時 平成30年4月14日(土)
 開催場所 東京駅「オールドステーション」
 参加人数 17名(農12名、養蚕5名)
 実施事項 近況報告・意見交換を含めた親睦
 幹事・報告者 鈴木 創三(農S47)

<幹事のコメント>

長、鈴木一郎、田淵、鈴木一男、佐藤久江、富田、峰松、池浦、根本、野村、石森、鈴木創三、遊佐、草野、新井、堀、美留町の各氏が「朋友関係50周年の金友合同クラス会」を祝って乾杯！懇談の華も満開！17:00に中締め、18:30に目出度く御披露喜。また、平成29年7月8日の合同クラス会では、農学11名+養蚕7名が出席、同年2月17日に亡くなった松村昭治氏を偲ぶ会を行いました。(詳しくは同窓会HP参照)。

来年は「4月最初の土曜日の午後」、平成31年4月6日(土) 14:00~17:00、東京駅のオールドステーションで開催予定。

植防防疫学科 昭利56年入学 同窓会

植防S56入学



日 時 平成30年4月14日(土)
 開催場所 アルカディア市ヶ谷
 参加人数 19名
 実施事項 親睦 近況報告
 幹事・報告者 宇野 明子、近澤 洋平(植防S60)

<幹事のコメント>

同級生17人が集まり、青木先生、寺岡先生にも参加していただきました。卒業して33年が経ち、みんな年は取りましたが、集まれば一瞬で若かりし頃に戻りました。少人数だったからこそ名前も顔も記憶にあり、懐かしい話に花が咲きました。一般教養の英語、有機化学、生化学など単位が取れなくて苦しんだ話はみんな同じでした。先生から農学部の榎並木や本館の時計台の話聞き、懐かしい風景が頭に浮かびました。今回は還暦になる頃、農学部生協で会おうねと約束して、お開きとなりました。

農学科S39入学クラス会

農S39入学



開催日 平成30年4月26日(木)
 開催場所 江ノ島 岩本楼
 参加人数 11名
 実施事項 ①藤沢えびね・やまゆり園見学 ②宿泊のクラス会
 ③鎌倉散策
 幹事・報告者 幹事 村山 尚(農S43)

<幹事のコメント>

「卒業50年の節目のクラス会を湘南で」という提案があり、NPO法人藤沢えびね・やまゆり園の主催者である富田君に相談、「えびね」の咲く頃が良いということになった。江の島は誰もが一度は訪れる

観光地だが、「弁天小僧菊之介」ゆかりの岩本院(現:岩本楼)に泊まる機会はなからうと思って企画した。50年の歳月で仲間の学識と経験に益々磨きがかかり、夜遅くまで、昨今の農地行政、諫早湾干拓に関する考察等、かつての「農ゼミ」が展開された。翌日は折からの修学旅行の生徒さんに交じり、お爺さんの鎌倉名所巡り。長谷観音、鎌倉大仏、鶴岡八幡宮を拝観。皆さんまだまだ元気。

マツダ(株) 2018新入社員歓迎会

日 時 平成30年5月11日(金)
 開催場所 広島市 えびすの宴
 参加人数 26名
 実施事項 農工大卒 新入社員歓迎会
 幹事・報告者 石田 一之(機械S59)

<幹事のコメント>

GW明け金曜日に、毎年恒例5月病予防を兼ねて、マツダ(株)新入社員歓迎会を開催しました。今年は、新人5名中途2名の入社あり、更には中国電力の1名、県職の1名を招待して、総勢26名の大宴会を開催。新人には自己PRビデオを宿題として与えて、余興タイムは大変盛り上がりました。個性的な新人達に先輩達は驚きつつも、頼もしさを感じて、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。

W70同期会古稀記念総会

林産S45 (S41入学)



開催日 平成30年5月25日(金)
 開催場所 東京農工大学同窓会50周年記念会館ホール
 参加人数 10名
 実施事項 懇親・近況報告(含:副学長のお話)
 幹事・報告者 西浦 忠輝(代表・報告者)、安斎 文夫、齊藤 五郎
 <以上林産S45>

<幹事のコメント>

2年に1回開催している同期会を、全員が古稀を迎えた今回は「古稀記念総会」として、午後2時から母校で開催しました。27名のメンバーのうち出席者は10名でしたが、恩師を含む多くの欠席者から近況が寄せられ、情報交換と懇談の楽しい会となりました。今回は特別に岡山副学長から「東京農工大学の近況」の演題でお話を頂きました。活発な質疑応答もあり、古稀を過ぎて母校へ愛校心が更に増したように思います。二次会は「ビッグエコー府中並木通店」に場所を移しての飲み放題と懐メロ(我々にとっては青春歌)の3時間。午後8時半には2年後の再会を約して散会しました。



2019年4月「工学部」「大学院農学府」が大きく変わります！

平成31年（2019年）4月に、「工学部」および「大学院農学府」を改組することを構想中です。

東京農工大学工学部の学科改組構想について

東京農工大学工学部では、現行8学科から、生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、化学物理工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科の6学科に学科改組することを構想中です。工学部においては、工学分野の科学技術に関する基礎、専門知識・技術、専門性を発揮するために役立つ論理的思考力、表現力、多様性を受容する力や協働性を育む教養を学ぶ機会を提供します。主体性を持って人生を切り開いていくために必要な専門性と、人類が直面している諸課題に対し、多面的に考察して判断し、自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく表現することができる能力を有する人材を養成することを目的とします。

東京農工大学大学院農学府（修士課程）の改組構想について

東京農工大学大学院農学府では、現在9つの専攻がありますが、それらをひとつに統合した農学専攻が誕生します。農学専攻は、生物生産科学コース、応用生命化学コース、自然環境資源コース、食農情報工学コース、地球社会学コース、国際イノベーション農学コースの6コースで構成される予定です。この改組の目的は、専攻のボーダーをなくし農学を基盤としながらも学際的に地球規模の課題に挑める人材の育成です。そのために、自身の専門だけでなく俯瞰した視野を持てるよう、専攻内での学術交流や海外の大学との提携も進めていきます。さらに、この6つのコースはそれぞれ連合農学研究科の専攻と対応しており、博士課程への接続を想定した人材の育成も視野に入れていきます。

改組に関する情報は、本学ホームページ等で随時公表していきます。

お笑いコンビ「ハマカーン」が広報大使に再任

東京農工大学は、卒業生で、人気お笑いコンビ「ハマカーン」の神田伸一郎氏（写真右）と浜谷健司氏（写真左）の両名を「東京農工大学広報大使」として再任しました。ハマカーン（株式会社ケイダッシュステージ所属）のお二人は、平成26年3月に本学広報大使に就任後、受験生向けのオープンキャンパスで放映するビデオに出演されるなど、本学のイメージアップに貢献していただいています。また、平成29年6月には、BS朝日「極上空間」のロケで本学を訪問していただきました。広報大使の任期は、2018年4月1日から2020年3月31日までの2年間です。



科学博物館所蔵の合成ゴム板が化学遺産に認定

科学博物館収蔵資料の「合成ゴム（NBR）板」が、日本化学会第9回化学遺産に認定されました。平成30年3月21日（水）の日本化学会第98春季年会表彰式で認定証が贈呈されました。本資料は、京都大学化学研究所で昭和12年頃に試験生産されたNBR板で、長らく開発者である京都大学工学部の古川淳二教授の手許にあったものが、昭和57年に、京都大学化学研究所と東京農工大学繊維博物館（現在の科学博物館）に寄贈されたものです。

戦時中の合成ゴムに関する資料は少なく、本資料は戦時中に日本でも独自に開発した技術によって合成ゴムの工業化を達成したことを示す資料として貴重であり、化学遺産にふさわしいものとして認定される運びとなりました。



慶 弔

(敬称略)

慶 事 お祝い申し上げます

平成29年秋の褒章

水庭 博 (林S49) 黄綬褒章

弔 事 ご逝去を悼み、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます

<p>農学 岡部善次郎 (S15) 菊地 正己 (S16) 中崎(泉)長三郎 (S16) 長谷川祐一 (S16) 町田 暢 (S17) 石井 兵庫 (S20) 福岡(宮本)三郎 (S20) 植田 和彦 (S28) 藤村 俊彦 (S30) 志村 洋一 (S31) 大川 清 (S38) 福田洋一郎 (S41) 拓殖 岩田 成志 (S18) 生物 藤澤(伊藤)俊英 (S20) 農甲 新井 孝 (S23) 農乙 山田 貞男 (S22) 越田 丞治 (S23) 佐藤 修吾 (S23) 農改 村松 武治 (S47) 養蚕 勝田 五郎 (S25) 田嶋 定雄 (S26) 養実 伊藤 要 (S20) 尾崎 伸生 (S22) 宮島 義和 (S23) 石井 好一 (S25) 荻原(久保田)千秋 (S26) 織農 坂口 進 (S22) 下田 昭 (S23) 井上 貞次 (S24) 農化 一瀬 速 (S26)</p>	<p>農化 正垣 融 (S26) 鈴木 清 (S30) 松岡 博厚 (S32) 山口 宗男 (S36) 星野 明 (S38) 林学 米山 俊博 (S19) 植村(松本)左千夫 (S20) 富永 泰輔 (S22) 鈴木勇氣夫 (S23) 櫻井 雄二 (S30) 棟方 鋼男 (S32) 中島 宗明 (S33) 佐藤 信昭 (S44) 農土 内田 哲夫 (S25) 農工 本田恭二郎 (S31) 新山 勲 (S32) 中越 祥夫 (S46) 獣医 玉栄 義信 (S38) 高橋 雄二 (S46) 金重 辰雄 (S50) 獣畜 鹿屋 兼則 (S19) 長谷川久一 (S19) 製糸 鈴木 弘文 (S22) 二宮 昭治 (S22) 滝沢 孝 (S24) 阿部郁二郎 (S25) 武井 淳 (S26) 矢嶋 恒男 (S28) 中西 義治 (S30) 伊東 正晃 (S37)</p>	<p>教婦 福永(大久保)むつい (S12) 篠崎 とく (S17) 紡織 小池 真澄 (S23) 織工 富田 雄幸 (S28) 岡野 伊重 (S30) 化工 杉田 良雄 (S50) 瀬戸(鈴木)正 (S56) 織化 渡辺 三郎 (S23) 木村 富昭 (S24) 檜山 晃士 (S24) 堀 正邦 (S36) 瀬田 幸雄 (S37) 武田 博之 (S38) 工化 井上 修一 (S41) 深沢 哲夫 (S43) 資源 吉田 直美 (S61) 機械 高松 忠孝 (S43) 前田 昌徳 (S43) 浅野 勝房 (S47) 中里 正明 (S53) 田代 宏見 (S54) 機シス 柳生 展芳 (H22) 応物 大野 茂雄 (S55) 数情 荒木 邦行 (S55) 高田(岩田)葉子 (S55) 電電子 加藤 航 (H21) 生シ院 上岡 利人 (H23)</p>
---	--	--

(学科、卒年順)

※訃報の掲載は、ご家族から掲載の許可をいただいた方のみ掲載

な ん と か な る[®]

詳しくは
「井口一世」で検索してください。

《キムチ乳酸菌の小さな物語》

20 年程前、茨城県工業技術センター橋本俊郎氏(微生物ハンター)は宇都宮市内で買い求めたキムチがとてもおいしかったので、興味を持って乳酸菌を分離同定し、偶然新種のラクトバチルス・サケイ HS-1 (*Lactobacillus sakei* HS-1) を発見して特許登録しました。茨城県内各地でキムチ教室が開催され、盛況の様子が朝日新聞全国版に掲載されました。

10 年程前、全農家畜衛生研究所へ委託した HS-1(死菌)マウス投与試験で、通常の生菌剤の 100 分の 1 の微量で同等の免疫賦活効果を見出し、特許取得しました。

6 年程前、兵庫県畜産センター設楽修氏のフィールド試験で、生菌剤の 100 分の 1 の微量の HS-1 (死菌 10^4 /飼料 g) を子豚の飼料に添加することで、抗菌剤と同等の増体効果、下痢防止効果を確認しました。兵庫農技総セ研報(畜産)48, 17-22 (2012) [論文]

昨夏から大手フライドチキンの指定農場である北海道の大規模養鶏場で採用され、飼料用要求率、生産指数が大幅に改善されました。

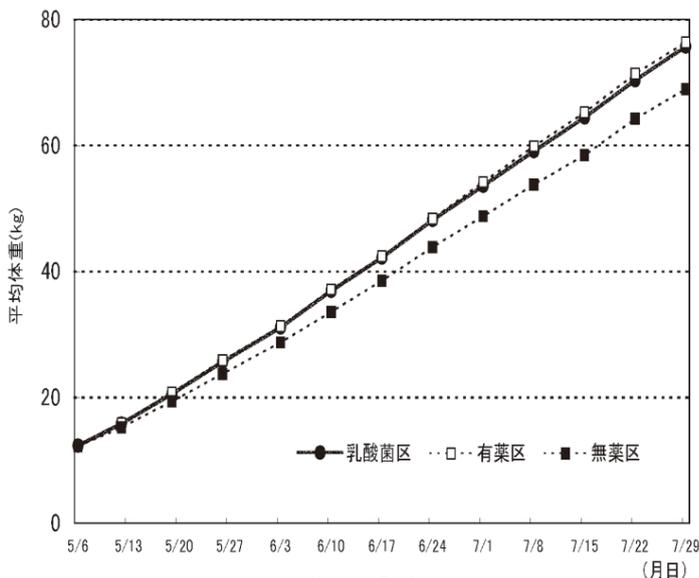


図1 供試豚の体重推移

★プロバイオティクス(生菌による整腸作用等) からバイオジェニクス(生菌・死菌によらず腸管免疫)の時代へ

《お問い合わせ先》

カザミフードサイエンス 代表 風見大司
 〒326-0044 栃木県足利市助戸 3-522-6
 090-2243-2775
kazami.daiji920405@ozzio.jp
 日本畜産技術士会会員 (農化 S53 年卒)



株式会社 八木製作所

創 業：1963年(昭和38年)

所 在 地： **本 社** (JR中央線豊田駅徒歩1分)

東京都日野市豊田4-36-16

八王子工場 (JR中央線八王子駅バス7分徒歩3分)

東京都八王子市大和田町3-4-17

八王子第二工場 (JR中央線八王子駅バス7分徒歩5分)

東京都八王子市大和田町1-21-12

業務内容：事務機器、光学機器、医療機器等の部品の精密加工及び
治具の設計・製作・組立

H P : <http://www.yagiseisakujo.co.jp>

MAIL : support@yagiseisakujo.co.jp

困った時も八木製作所!

幹事さんのお手伝いをいたします! 幹事さん、受付楽々!

同窓会を開こう!

還暦同窓会・支部会
部活動OB・OG会
同期会

ご相談ください!

☆まずはお気軽にお問合せください!
同窓会支援事業部

TEL.097-556-4141
<http://dousou.info/>

映像に感動を! 写真にインパクトを!

ドローン空撮 承ります!

4K品質
ステル・動画

Youtubeで動画公開中!

周年行事等の記念に!
自社PR素材として!

☆まずはお気軽にお問合せください!
ドローン空撮についてのお問合せ先

TEL.097-558-3444
http://www.ohp.co.jp/cre_drone

心を動かすメディアを創造する

TEL.097-558-3444
<http://www.ohp.co.jp>

小野高速印刷株式会社

忘年会・新年会・歓送迎会・クラス会・謝恩会
PTA会合・周年行事・結婚披露宴・御法事

CATERING Service

出張料理

**1パーティ・御宴会は
サンクリアで!!**

お集まりにふさわしい雰囲気演出致します。
お客様のご予算に応じたお料理お飲物を調整致します。

グラス~テーブルクロス等
あらゆる備品を用意し、
セッティングからサーバー
後片付けまですべて
おまかせ下さい。

サンクリア

TEL&FAX (042) 368-6368

東京都府中市本町1-1-7

事務局だより

1. 会費納入のお願い

会費は同窓会活動の原動力です。正会員は同封の払込票にて次のいずれかの金額を納入してください。

終身会費30,000円または年会費1,500円（※年会費は年度4月～3月を1年としています。）

◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です

◇過去に遡って納入の必要はありません

2. 就職先情報提供のお願い

同窓会では就職支援の一環として、就職活動中の在学生に対し、みなさまの勤務先と氏名の情報提供をしております。在学生への情報提供を希望されない場合は、「本学学生への就職支援」について、**平成30年10月末日までに、同窓会ホームページ「会員情報」または、同封の「住所・勤務先変更連絡票」にて**同窓会事務局までお知らせください。ご連絡がない場合は了承されたものとして、就職情報を在学生に提供させていただきます。

3. 住所等の変更・メールアドレスの新規登録について



農工通信は、ご登録いただいているご自宅住所にお送りしております。転居等で住所等、登録内容の変更があった場合は、同窓会事務局までご連絡願います。※ご実家住所を気付（様方）でご登録の場合、届かないケースが増えておりますので、現住所をお知らせください。

また、メールアドレスを登録いただけますと、各種連絡がスムーズに行えますので登録をお願いいたします。

登録内容の更新・変更は、同窓会ホームページ「会員情報」からお手続きができます。従来通り、「住所・勤務先変更連絡票」でも受け付けております。

なお、同窓会が保有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営し、個人情報保護には万全を期しております。

4. 名簿提供について

平成22年5月の名簿発行の廃止に伴い、従来の会員名簿に替わり、本会が保有する会員の個人情報は名簿提供依頼書等により会員に提供しております。

【申請書の入手方法】

- 1)同窓会事務局へ電話・メール等で、送付依頼
- 2)同窓会ホームページ「事務局便り・お知らせ」からダウンロード

【申請手続き】

利用目的	申請者	申請書	必要書類
部会・支部活動	部会・支部の連絡員	(様式1)部会・支部・クラス会等名簿提供依頼	—
クラス会・OB会等の開催	同窓会員		身分証明書(運転免許証、健康保険証など)のコピー

※個人的な情報提供依頼は、ご本人の承諾を得て情報を提供します。

一般社団法人化後の代議員選挙準備の開始について

選挙管理委員長 峰松 敏夫

平成31年1月実施予定（P.10参照）の一般社団法人化後の代議員選挙についてお知らせします。下記の代議員候補者を11月10日までに確定し、被選挙人名簿を作成して平成31年1月1日発行予定の農工通信に投票用紙を同封します。

- ①部会推薦代議員候補者：理事会が提案する会長候補者1名以上、部会長候補者（副会長候補者）21名及びその他の部会推薦候補者75名
- ②支部推薦代議員候補者：支部長候補者48名及びその他の支部推薦候補者48名
- ③立候補代議員（従来1月に募集していた一般正会員の総会構成員に相当）：50名以内

①及び②については各部会、支部に候補者の推薦をお願いします。

③については、同窓会ホームページに掲載する応募用紙を同窓会事務局に9月30日までに提出してください。ホームページをご覧になれない方は同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。

※選挙人及び被選挙人は正会員（終身会員または平成30年9月30日現在、過去5年以内に1度でも年会費を納めている者）である必要があります。

編集後記

Editor's note

広報・情報部長 亀山秀雄（化工S48）

本号で卒業生の就職・進学先一覧表が掲載されていますが、日本経済新聞社と就職・転職支援の日経HRが発表した大学イメージ調査「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」で、本学が総合3位にランキングされました。さらに、「熱意がある、主体性がある、チャレンジ精神がある」ことを示す「行動」の側面指標で、1位になりました。この内容は、2018年6月6日発売のムック「価値ある大学 2019年版」

に掲載されています。同窓会が行っている学生援助事業報告でも、学生が活発に国内外で学会発表を行い、多くの賞を受賞していることから「行動力ある農工大生」の一面が伺われます。今年は同窓会も大きな節目を迎えています。本号の中で説明されているように3年間に渡り皆様と議論した結果、平成30年10月1日から同窓会は、今までの任意団体から一般社団法人としてスタートします。これにより、法人格を持った団体として、社会的責任とともに大学や社会に対して幅広い活動を行うことができるようになります。本同窓会も同窓生の協力で「行動力ある同窓会」としてさらに発展することを期待しています。

農工通信 第95号（前期号）

発行日 平成30年（2018年）8月1日
 発行所 東京農工大学同窓会
 連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学同窓会事務局
 TEL 042 (364) 3328 FAX 042 (335) 3500
 e-mail info@tuat-dousokai.jp.org
 URL http://www.tuat-dousokai.org/
 振替口座 00120-9-93147番
 加入者名 東京農工大学同窓会
 印刷所 小野高速印刷株式会社
 〒870-0913 大分県大分市松原町2-1-6

お中元、お歳暮、贈り物に最適
 部会、支部会、同窓会でも
 ぜひご賞味下さい。

[しょうてんろく]
賞典禄

農工大ブランド本格焼酎

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター（FSセンター）で栽培した原料（米・芋・麦）をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄（しょうてんろく）」を販売しています。
 「好評いただいております」「賞典禄（しょうてんろく）」「米・芋・麦の本格焼酎に加えて、麦の熟成した原酒もそり踏みとなり、ますます品ぞろえが豊富になりました。」
 この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されている焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめますので是非ご賞味下さい。



原酒（麦） 米焼酎 芋焼酎 麦焼酎 長期貯蔵酒（米）

酒類販売管理者標識

販売場の名称及び所在地	東京農工大学農学部フィールドサイエンスセンター 東京都府中市幸町3-5-8
酒類販売管理者の氏名	本 林 隆
酒類販売管理研修受講年月日	平成29年 8 月30日
次回研修の受講期限	平成32年 8 月30日
研修実施団体名	社団法人 日本ボランティアチェーン協会

賞典禄 FAX 注文票 以下のとおり注文します。

東京農工大学 FS センター 宛 FAX : 042-367-5801

【ご注文内容】

		平成	年	月	日
原酒 麦焼酎 (2,500 円) 43 度 720ml	本	米焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本		
長期貯蔵酒 米焼酎 (1,800 円) 41 度 720ml	本	芋焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本		
焼酎 米・芋・麦 3 種セット (4,200 円) 25 度 720ml×3	セット	麦焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本		
合計注文金額			円		

【ご注文者様情報】

お名前	フリガナ	
住所	〒	
電話番号	FAX 番号	
生年月日	T.S.H 年 月 日	※年齢確認をさせていただく場合がございますのでご了承願います。

- 【ご注意】 ※1 お支払いは代金引換またはクレジットカードになります。詳しくは下記 URL をご覧下さい。
 ただし、FAX でご注文された場合のお支払いは、代金引換のみとなりますので、ご注文者様以外への配送は致しかねます。
 ※2 ご注文いただいた上記金額の他に、送料 (5,000 円以上は無料) 及び代金引換手数料 (代金引換額に応じた所定の金額) が必要になりますので、予めご了承願います。
 ※3 本注文票により収集された個人情報、賞典禄の販売以外の目的には使用いたしません。

ネットショップ：FS センター農工夢市場ネットショップ

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

問い合わせ先

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務室

TEL042-367-5811